

第2期豊中市スポーツ推進計画

評価報告書

令和6年度（2024年度）実施分

令和7年（2025年）11月

豊中市 都市活力部 スポーツ振興課

目次

1	はじめに	- 1 -
	(1) 将来像.....	- 1 -
	(2) 施策の方針（柱）	- 1 -
2	進捗管理	- 3 -
	(1) 施策の進捗管理の考え方	- 3 -
	(2) 進捗評価	- 4 -
3	計画評価	- 13 -
	(1) 計画評価の考え方	- 13 -
	(2) 計画の評価	- 14 -
4	個別施策	- 16 -
	(1) 一覧表.....	- 16 -
5	資料編	- 19 -
	(1) 豊中市スポーツ推進審議会	- 19 -
	(2) 個別カルテ	- 20 -

1 はじめに

本市では市民がスポーツの多様な効果・効用を十分享受できるよう、市民の参画と多様な主体との協働を柱とする「豊中市スポーツ推進ビジョン」を平成 24 年度（2012 年度）に策定しました。また、それを実践するため、平成 26 年度（2014 年度）から令和 4 年度（2022 年度）までの 9 年間を計画期間とする「豊中市スポーツ推進計画」（以下、前計画）を策定し、取り組みを進めてきました。

しかしながら、令和 2 年（2020 年）当初から発生した新型コロナウイルス感染症は市民のスポーツ環境に大きな影響を与え、またスポーツを取り巻く環境も前計画の策定時とは大きく変容しつつあります。

こうした状況の中、本市としてスポーツの意義や役割を改めて捉えなおし、スポーツが日常の暮らしのルーティンとして溶け込むことができるよう計画的、体系的に取り組んでいく必要があります。令和 5 年（2023 年）3 月に「第 2 期豊中市スポーツ推進計画」を策定しました。令和 5 年度（2023 年度）から令和 9 年度（2027 年度）までの 5 年間を見据えた第 2 期スポーツ推進計画の推進に向けて、スポーツ推進審議会で審議を行い、進行管理を行っていきます。

（1）将来像

第 2 期スポーツ推進計画は、単なる“スポーツの振興”のみを目的とするのではなく、スポーツを通じたまちづくりや地域活性化をめざします。

将来像

スポーツの力で明日がもっと楽しくなる

誰もが輝き

心と体が躍動するまち

一人でも、仲間とでも。いつからでも、今からでも。

（2）施策の方針（柱）

将来像の実現をめざしていくうえで、市民のスポーツ実施率向上をめざすスポーツそのものの推進と、スポーツの力を活用したスポーツによるまちづくりの推進の両輪から各種施策を進めていくものとします。

方向性	方針	施策
1 すべての 市民が スポーツに 親しむ機会の 充実	(1) スポーツへの 動機付けの強化	① 情報発信による関心喚起 ② 気軽な体験による実行支援
	(2) スポーツ機会の 創出	① 幅広い世代への スポーツ機会の創出 ② 子どもへの スポーツ機会の創出 ③ スポーツ推進のための 場づくり
	(3) スポーツを通じた 交流の推進	① 域内での交流 ② 域外との交流
	(4) スポーツ推進のため の人材確保・育成	① 人材の確保 ② 人材の育成
	2 スポーツを活かした 魅力あるまちづくり	① スポーツによる シビックプライドの醸成
		② スポーツを通じた共生社会の 推進
		③ スポーツによる健康増進

2 進捗管理

(1) 施策の進捗管理の考え方

施策の進捗管理の方法は、施策単位における「実施事業」の単位でA(達成・推進)、B(取組中)、C(調査・検討中)で行い、進行度合いを検証・確認するものとします。

なお評価は、各事業の担当部署による自己評価により行い、スポーツ振興課がとりまとめます。

また、各評価の点数（A：3点、B：2点、C：1点）を基に達成度を算出します。

【計算式】達成度計算式：(合計点数/（項目数×3点）×100)

(2) 進捗評価

ア 総論

(ア) 1 すべての市民がスポーツに親しむ機会の充実

54事業のうち「A（達成・推進）」は30事業、「B（取組中）」は24事業、「C（調査・検討中）」は0事業で、達成度は85%でした。

【一覧表】

方向性・方針		項目数			得点/満点 (A:3点、B:2点、 C:1点)	達成度
		A	B	C		
1 すべての市民がスポーツに親しむ機会の充実						
(1)	スポーツへの動機付けの強化	5	4	0	23/27	85%
(2)	スポーツ機会の創出	12	17	0	70/87	80%
(3)	スポーツを通じた交流の推進	9	1	0	29/30	96%
(4)	スポーツ推進のための人材確保・育成	4	2	0	16/18	88%
計		30	24	0	138/162	85%

※ 達成度計算式：(合計点数/ (項目数×3点) ×100)

【審議結果】

審議会コメント

総じて、すべての市民がスポーツに親しむ機会の充実に向けて、順調に進行しているといえます。

方針(1)「スポーツへの動機付けの強化」では、紙媒体とデジタル媒体の併用により、幅広い市民層への情報提供が実現されました。特に、広報誌や学校配布チラシは参加動機として有効であり、対象年齢層に応じた媒体選定が成果に直結しています。今後は、SNS等のツールを活用しながら発信内容を工夫し、より多くの市民にスポーツを振興するための方策を検討する必要があります。

方針(2)「スポーツ機会の創出」では、スポーツ・健康・子育て・教育の分野で多様な取り組みを展開し、幅広い層の参加促進と地域活性化に貢献しました。イベント開催、地域指導、乳幼児や職員への運動指導などを通じて、市民が日常的に運動に親しむ機会を提供することができました。

方針(3)「スポーツを通じた交流の推進」では、地域住民の参加促進、都市間連携を通じて、スポーツを軸とした市民のつながりを強化することに成功した点が評価できます。

方針(4)「スポーツ推進のための人材確保・育成」では、市ホームページやポスター等による情報提供を行ったものの、指導者講習会の参加者は少なく、指導者の確保には課題があります。広報や講習内容の工夫に加えて、潜在的な指導者への働きかけや資格取得のための支援が必要です。また、部活動の地域展開を進めるには、指導者の育成・地域クラブの認定制度の整備や、地域での受け入れ体制の構築に取り組む必要があります。

また、中学校運動部活動の指導者については、学校の希望するすべての種目に対応できる指導員又は指導協力者の配置には至っていないため、継続的に人材確保に取り組むとともに、地域スポーツを担う人材確保や資質向上に取り組む必要があります。

(イ) 2 スポーツを活かした魅力あるまちづくり

17 事業のうち「A（達成・推進）」は 12 事業、「B（取組中）」は 5 事業、「C（調査・検討中）」は 0 事業で、達成度は 90%でした。

【一覧表】

方向性・方針		項目数			得点/満点 (A:3点、B:2点、 C:1点)	達成度
		A	B	C		
2	スポーツを活かした魅力あるまちづくり	12	5	0	46/51	90%

※ 達成度計算式：(合計点数/ (項目数×3点) ×100)

【審議結果】

審議会コメント

総じて、スポーツを活かした魅力あるまちづくりに向けて、順調に進行していると評価できます。

各事業においては、地域の賑わい創出、障害者支援、健康意識の向上など、幅広い分野で成果が見られました。

グリスポピア等のスポーツまちづくりイベントを実施することで地域の賑わいを創出し、施設への愛着を高める取り組みが展開されました。これらの点は、地域活性化に寄与するものとして評価できます。

障害者向けのスポーツ教室やイベントを通じて、障害者スポーツの魅力を広く発信するとともに、障害者と健常者が交流する場を提供しました。これらの取り組みにより、共生社会の実現に向けた理解促進に寄与しています。今後は、障害者への継続的な広報活動や参加型イベントの充実が求められます。また、障害児チャレンジスポーツにおいては、対象年齢を 17 歳まで拡大したことで参加者数が増加し、活動機会の拡大につながった点が評価できます。一方で、18 歳以降の支援については、今後検討する必要があると考えます。

小・中学校での体力づくり推進計画策定、高齢者向けスポーツ教室や親子で参加できるイベント開催を通じて、スポーツによる市民の健康増進に取り組んでいる点が評価できます。

これらの取組みは、地域住民のスポーツ参加機会の拡充と、各世代の健康づくりの推進に貢献しており、今後も多様なニーズに応じた事業展開を検討する必要があると考えます。

イ 各論

(ア) 1 (1) スポーツへの動機付けの強化

9事業のうち「A（達成・推進）」は5事業、「B（取組中）」は4事業、「C（調査・検討中）」は0事業で、達成度は85%でした。

「市広報・ホームページ等のスポーツ情報発信【事業 No.1】」では、イベント時のアンケート結果から、市広報誌や学校へのチラシ配布が情報伝達手段として高い効果を発揮していることが分かりました。今後も紙媒体による情報発信を継続するとともに、イベント参加者への SNS 登録促進など、デジタル媒体の活用を強化し、情報の到達範囲の拡大を図ります。

「スポーツの日の事業の開催【事業 No.8】」では、スポーツの日に新体力測定やニュースポーツ体験会を開催し、市民のスポーツ参加機会の創出に努めました。参加者数は前年から68%増加し、目標を達成しました。次年度に向けては、参加率が低い20代～40代の層への広報を強化し、さらなる参加促進をめざします。

【一覧表】

施策	実施事業	評価区分		
		A	B	C
① 情報発信による関心喚起				
	市広報・ホームページ等のスポーツ情報発信【事業 No.1】		●	
	各種スポーツ団体の情報発信の支援【事業 No.2】	●		
	スポーツ施設指定管理者の情報発信【事業 No.3-1】	●		
	スポーツ施設指定管理者の情報発信【事業 No.3-2】	●		
② 気軽な体験による実行支援				
	ラジオ体操やウォーキングの推進【事業 No.4】		●	
	ウォーキング講座【事業 No.5】		●	
	スポーツ用具等貸出事業【事業 No.6】	●		
	スポーツ指導者派遣事業【事業 No.7】		●	
	スポーツの日の事業の開催【事業 No.8】	●		
項目数		5	4	0
得点/満点（A: 3 点、B: 2 点、C: 1 点）		23/27		
達成度		85%		

(イ) 1 (2) スポーツ機会の創出

29事業のうち「A（達成・推進）」は12事業、「B（取組中）」は17事業、「C（調査・検討中）」は0事業で、達成度は80%でした。

「サーキットトレーニング【事業 No.21】」事業では、Jサーキットマシンを活用した有酸素運動を実施し、実施回数の増加により目標を達成しました。幅広い年齢層の参加がみられ、スポーツ機会の拡大につながりました。

「子どもの居場所の充実【事業 No.24】」では、豊中市立第七中学校と連携し、グリーンスポーツセンターで居場所づくりワークショップを開催しました。生徒の発案により、ダンスルームやボードゲーム等新たな居場所が誕生しました。

「青少年自然の家わっぱるなどの野外活動事業【事業 No.31】」事業では、ひとり親家族支援のキャンプや元プロ野球選手の講演会、地元企業・団体の協力による教育文化事業を実施し、わっぱるの魅力開発や利用者層の開拓のための事業展開をしました。民間企業とのコラボレーションで3事業展開したことで利用者数が増加しましたが、野外活動に関心が薄い層に興味を持ってもらえるよう、今まで以上に地元企業と連携して事業展開する必要があります。

また、「スポーツ振興基金の収入確保に向けた取組み【事業 No.33】」事業では、豊中ローズ球場大規模改修に向けたクラウドファンディングを実施しました。今後は、企業版ふるさと納税やスポーツ施設内広告の導入も検討します。

【一覧表】

施策	実施事業	評価区分		
		A	B	C
① 幅広い世代へのスポーツ機会の創出				
	ライフステージに応じたプログラムの開発と普及【事業 No.9】		●	
	各種スポーツイベントの実施【事業 No.10】	●		
	各種スポーツ教室の開催【事業 No.11-1】		●	
	各種スポーツ教室の開催【事業 No.11-2】	●		
	各種スポーツ大会の開催【事業 No.12】		●	
	地域スポーツ活動の推進【事業 No.13】	●		
	総合型地域スポーツクラブ・スポーツ振興会事業【事業 No.14】	●		
	子育て支援センターにおける運動機会の充実【事業 No.15】	●		
	親子ふれあい事業【事業 No.16】	●		
	ラジオ体操やウォーキングの推進【事業 No.17】		●	
	ウォーキング講座【事業 No.18】		●	
	スポーツ指導者派遣事業【事業 No.19】		●	
	健康づくり支援事業補助金交付事業		●	

施策	実施事業	評価区分		
		A	B	C
	【事業 No.20】			
	サーキットトレーニング【事業 No.21】	●		
② 子どもへのスポーツ機会の創出				
	運動部活動の地域展開【事業 No.22】		●	
	マルチスポーツの推進【事業 No.23】	●		
	子どもの居場所の充実【事業 No.24】		●	
	小学生体力づくり事業【事業 No.25】		●	
	子どもスポーツ教室（幼児）の開催【事業 No.26-1】	●		
	子どもスポーツ教室（幼児）の開催【事業 No.26-2】	●		
	げんキッズプロジェクトの実施【事業 No.27】		●	
	保育内容の充実【事業 No.28】		●	
	大学とのスポーツ連携【事業 No.29】	●		
	子どもスポーツ教室の開催【事業 No.30-1】		●	
	子どもスポーツ教室の開催【事業 No.30-2】	●		
	青少年自然の家わっぱるなどでの野外活動事業【事業 No.31】		●	
③ スポーツ推進のための場づくり				
	スポーツ施設の計画的な改修・更新と施設機能の維持向上【事業 No.32】		●	
	スポーツ振興基金の収入確保に向けた取組み【事業 No.33】		●	
	広告収入などを活用したスポーツ振興【事業 No.34】		●	
項目数		12	17	0
得点/満点（A:3 点、B:2 点、C:1 点）		70/87		
達成度		80%		

(ウ) 1 (3) スポーツを通じた交流の推進

10 事業のうち「A (達成・推進)」は 9 事業、「B (取組中)」は 1 事業、「C (調査・検討中)」は 0 事業で、達成度は 96%でした。

「市民体育祭【事業 No.35】」事業では、各小学校区の公民分館が地域住民も参加する体育祭を開催し、地域住民に運動と交流の機会を提供するとともに、交流を深めてもらうことで相互協力ができる体制をつくりました。公民分館事業への参加・参画の呼びかけやチラシ、回覧板、ホームページ等による広報の効果もあり、参加者数は目標を達成しました。今後は、さらに幅広い層への周知方法を検討していく必要があります。

「兄弟都市や姉妹都市、空港で結ぶ就航都市、近隣市など他市チームとの交流試合の開催【事業 No.42-2】」事業では、沖縄市との兄弟都市提携 50 周年を記念し、少年軟式野球とミニバスケットボールの交歓試合を実施しました。今後も兄弟都市や姉妹都市との交流を継続し、スポーツを通じた交流をより推進します。

【一覧表】

施策	実施事業	評価区分		
		A	B	C
① 域内での交流				
	市民体育祭【事業 No.35】	●		
	公民分館協議会各ブロックのスポーツ大会【事業 No.36】	●		
	スポーツまちづくりイベントの実施（グリスポピア等）【事業 No.37-1】	●		
	スポーツまちづくりイベントの実施（グリスポピア等）【事業 No.37-2】	●		
	各種スポーツイベントの実施【事業 No.38】	●		
	各種スポーツ大会の開催【事業 No.39】		●	
	地域スポーツ活動の推進【事業 No.40】	●		
	総合型地域スポーツクラブ・スポーツ振興会事業【事業 No.41】	●		
② 域外との交流				
	兄弟都市や姉妹都市、空港で結ぶ就航都市、近隣市など他市チームとの交流試合の開催【事業 No.42-1】	●		
	兄弟都市や姉妹都市、空港で結ぶ就航都市、近隣市など他市チームとの交流試合の開催【事業 No.42-2】	●		
項目数		9	1	0
得点/満点（A:3 点、B:2 点、C:1 点）		29/30		
達成度		96%		

(エ) 1 (4) スポーツ推進のための人材確保・育成

6事業のうち「A（達成・推進）」は4事業、「B（取組中）」は2事業、「C（調査・検討中）」は0事業で、達成度は88%でした。

「中学校運動部活動の指導者の確保【事業 No.44】」事業では、中学校の運動部活動の持続可能性を担保させるため、部活動指導員制度の活用や部活動指導協力者事業を展開し、専門的技術と指導力を備えた外部人材を配置・派遣しました。部活動指導員配置人数、部活動指導協力者のべ派遣回数ともに前年度の実績を上回りました。学校が必要とする専門種目や指導日数等とのミスマッチングにより未配置の種目等があるため、継続して人材確保に取り組む必要があります。

「公認資格取得のための講習会参加奨励【事業 No.48】」事業では、スポーツ指導者の育成支援として、スポーツ少年団に対し、公認資格取得に向けた講習会の情報を提供しました。今後は体育連盟を通じて、各競技団体へ講習会や資格取得に関する情報提供を強化していきます。

【一覧表】

施策	実施事業	評価区分		
		A	B	C
① 人材の確保				
	運動部活動の地域展開【事業 No.43】		●	
	中学校運動部活動の指導者の確保【事業 No.44】		●	
	大学とのスポーツ連携【事業 No.45】	●		
	地域スポーツ活動の推進【事業 No.46】	●		
② 人材の育成				
	指導者講習会・審判講習会の実施【事業 No.47】	●		
	公認資格取得のための講習会参加奨励【事業 No.48】	●		
項目数		4	2	0
得点/満点(A:3 点、B:2 点、C:1 点)		16/18		
達成度		88%		

(オ) 2 スポーツを活かした魅力あるまちづくり

17事業のうち「A（達成・推進）」は12事業、「B（取組中）」は5事業、「C（調査・検討中）」は0事業で、達成度は90%でした。

「スポーツまちづくりイベントの実施（グリスポピア等）【事業 No.51-2】」事業では、秋のスポーツイベントを開催し、スポーツ・遊びを融合した全世代向けの催しを通じて、地域の賑わいを創出しました。専用ホームページによる施設情報の発信や、民間企業と連携した夏休み企画等も実施し、施設への愛着を高める取組みを行いました。

「障害福祉センターひまわりにおけるスポーツ事業【事業 No.54】」では、前年度好評であったボッチャ大会を開催し、障害者の健康を増進するとともに、様々な障害者スポーツ体験イベントを通じて、障害者への理解を深める機会を提供することで、障害のある人の日常生活の充実や社会参加を促進しました。課題である若年層の参加を増やすため、若年層が参加できる時間帯や講座内容を検討する必要があります。

「親子でエクササイズ【なわとび編・バスケ編】【事業 No.61】」事業では、市民の健康意識向上とフレイル予防を目的に、親子で参加できるなわとび講座を実施しました。今年度は「バスケ編」を新設し、なわとび以外の講座の需要もあることが分かりました。今後は、なわとび以外の種目も取り入れ、親子で参加できる事業を実施するとともに、働き世代への啓発を強化します。

【一覧表】

施策	実施事業	評価区分		
		A	B	C
① スポーツによるシビックプライドの醸成				
	歴史・文化財等にふれるまち歩き【事業 No.49】		●	
	トップアスリートによる講演会や教室、交流会の実施【事業 No.50】	●		
	スポーツまちづくりイベントの実施（グリスポピア等）【事業 No.51-1】	●		
	スポーツまちづくりイベントの実施（グリスポピア等）【事業 No.51-2】	●		
② スポーツを通じた共生社会の推進				
	障害児向けの各種スポーツ教室の開催【事業 No.52】		●	
	障害児チャレンジスポーツの実施【事業 No.53】	●		
	障害福祉センターひまわりにおけるスポーツ事業【事業 No.54】	●		
	障害者スポーツ体験会【事業 No.55-1】	●		
	障害者スポーツ体験会【事業 No.55-2】	●		
	障害者スポーツ体験会【事業 No.55-3】	●		
③ スポーツによる健康増進				
	小・中学校における体力づくり推進計画（アクションプラ	●		

施策	実施事業	評価区分		
		A	B	C
	ン) の策定【事業 No.56】			
	とよなかパワーアップ体操の普及(地域の通いの場づくり支援事業)【事業 No.57】		●	
	高齢者向け各種スポーツ教室の実施【事業 No.58-1】	●		
	高齢者向け各種スポーツ教室の実施【事業 No.58-2】	●		
	子どもの生活習慣の実態把握と分析【事業 No.59】	●		
	生活習慣病予防の推進(健康マイレージ事業「おおさか健康マイレージ アスマイル」)【事業 No.60】		●	
	親子でエクササイズ【なわとび編・バスケ編】【事業 No.61】		●	
項目数		12	5	0
得点/満点(A:3 点、B:2 点、C:1 点)		46/51		
達成度		90%		

3 計画評価

(1) 計画評価の考え方

2の取組みの成果として、目標値の達成度合から、計画全体のアウトカム（定量的にどの程度効果が発現したか）評価を行い、次期計画に反映します。

なお、本計画で掲げている成果指標は施策体系における「方向性」や「方針」との連動を意識して設定しているものの、必ずしも一対一対応するものではないことから、「方向性」や「方針」単位で評価を行うのではなく、あくまで以下6つの成果指標の総合的な評価を以て計画全体の評価とします。

また評価については、スポーツ振興課が数値を測定・報告し、「豊中市スポーツ推進審議会」での審議を以てして最終的な評価を確定させるものとします。5年に一度の数値測定となる成果指標については、施策の進捗評価を勘案して最終的な評価を確定させるものとします。

【成果指標及び測定方法】

① 市民のスポーツ実施率

5年に一度行う市民アンケートにより、週1回以上スポーツを行う市民の割合を把握し計測します。

② スポーツが好きな子どもの割合

毎年実施される全国体力・運動能力、運動習慣等調査で「運動やスポーツが好き・やや好き」と答える児童・生徒の割合から計測します。

③ 障害者スポーツに関与する市民の割合

5年に一度行う市民アンケートにより、障害者スポーツについて、「する」「みる」「ささえる」のいずれかの活動を行う市民の割合を把握し計測します。

④ 地域スポーツ参加率

5年に一度行う市民アンケートにより、市や地域のスポーツ団体などが主催するスポーツ行事等に参加する市民の割合を把握し計測します。

⑤ スポーツボランティア参加率

5年に一度行う市民アンケートにより、スポーツボランティア活動を行う市民の割合を把握し計測します。

⑥ 施設利用者数

毎年把握する市立屋内スポーツ施設の利用者数と市立屋外スポーツ施設の利用者数の合算値から計測します。

(2) 計画の評価

ア 総論

【目標値の達成度】

成果指標		基準値	実績値					目標値
		R3	R5	R6	R7	R8	R9	R9
市民のスポーツ実施率		55.4%	-	-	-	-	*%	65.0%
スポーツが好きな子どもの割合（児童）		84.5%	87.1%	87.8%	*%	*%	*%	増加
スポーツが好きな子どもの割合（生徒）		79.3%	80.9%	81.3%	*%	*%	*%	増加
障害者スポーツに関与する市民の割合		-	-	-	-	-	*%	20.0%
地域スポーツ参加率		-	-	-	-	-	*%	35.0%
スポーツボランティア参加率		6.5%	-	-	-	-	*%	10.0%
施設利用者数		764,960 人	1,122,440 人	1,118,655 人	*人	*人	*人	1,160,814 人
内訳	屋内体育施設	476,567 人	799,461 人	800,118 人	*人	*人	*人	875,881 人
	屋外体育施設	288,393 人	322,979 人	318,537 人	*人	*人	*人	284,933 人

【審議結果】

審議会コメント

「スポーツが好きな子どもの割合」について、令和 6 年度（2024 年度）の実績では、児童が平均 87.8%、生徒が平均 81.3%と、いずれも前年度及び基準値を上回りました。

一方、乳幼児については、幼児期の体力や運動能力が児童期以降の運動発達や生涯スポーツへの影響を及ぼす重要な時期であるため、この時期から体力や体幹を強化することが望ましいと考えます。

施設利用者数については、市立屋内スポーツ施設の利用者数は 800,118 人、屋外体育施設は 318,537 人で、合計 1,118,655 人となり、目標達成率は 96.4%でした。屋外体育施設については、豊島公園野球場（豊中ローズ球場）の大規模改修に伴う休場の影響により、実績値が前年度を下回りました。一方、屋内体育施設については、庄内体育館の改修による休館があったものの、実績値が前年度を上回りました。屋内体育施設の利用増加が全体の伸びに寄与しており、取組みは順調に進んでいます。

実績値を測定していない成果指標については、以下のとおり評価します。

「市民のスポーツ実施率」については、情報発信や世代を問わないスポーツ機会の創

出により、方向性「すべての市民がスポーツに親しむ機会の充実」の達成度は 85%となり、前年度から向上しました。今後もスポーツイベントや講座の開催及び様々な媒体を活用した情報発信により参加促進に取り組めます。

「障害者スポーツに関与する市民の割合」については、二ノ切温水プールでのチャレンジドピラティスや障害児チャレンジスポーツ等の実施により、参加者が増加しました。今後も体験会の継続と認知度向上に努めます。

「地域スポーツ参加率」について、市内の史跡や文化財、旧街道等をめぐるまち歩きやスポーツまちづくりイベント等の実施により、回数・参加者数ともに前年度を上回りました。取り組みは順調に進んでいます。

「スポーツボランティア参加率」について、令和 3 年度（2021 年度）の調査では、スポーツに関する支援活動参加状況において「何もしたことがないし、関心はない」と回答した人が 51.0%でした。今後はスポーツボランティアに興味を持ってもらうため、イベント情報の発信を強化し、幅広い層の参加促進と人材確保に取り組む必要があります。

4 個別施策

(1) 一覧表

 関心喚起策
  実行支援策
  継続支援策

事業 No.	施策体系	事業名	事業主体（所管）	フェーズ
1	1 (1) ①	市広報・ホームページ等のスポーツ情報発信	スポーツ振興課	  
2	1 (1) ①	各種スポーツ団体の情報発信の支援	スポーツ振興課	
3-1	1 (1) ①	スポーツ施設指定管理者の情報発信	屋内指定管理者	
3-2	1 (1) ①	スポーツ施設指定管理者の情報発信	屋外指定管理者	
4	1 (1) ②	ラジオ体操やウォーキングの推進	スポーツ振興課	  
5	1 (1) ②	ウォーキング講座	屋内指定管理者	
6	1 (1) ②	スポーツ用具等貸出事業	スポーツ振興課	
7	1 (1) ②	スポーツ指導者派遣事業	スポーツ振興課	
8	1 (1) ②	スポーツの日の事業の開催	スポーツ振興課	
9	1 (2) ①	ライフステージに応じたプログラムの開発と普及	屋内指定管理者	  
10	1 (2) ①	各種スポーツイベントの実施	スポーツ振興課	
11-1	1 (2) ①	各種スポーツ教室の開催	屋内指定管理者	
11-2	1 (2) ①	各種スポーツ教室の開催	屋外指定管理者	
12	1 (2) ①	各種スポーツ大会の開催	スポーツ振興課	
13	1 (2) ①	地域スポーツ活動の推進	スポーツ振興課	
14	1 (2) ①	総合型地域スポーツクラブ・スポーツ振興会事業	スポーツ振興課	
15	1 (2) ①	子育て支援センターにおける運動機会の充実	はぐくみセンター こども支援課	
16	1 (2) ①	親子ふれあい事業	屋内指定管理者	
17	1 (2) ①	ラジオ体操やウォーキングの推進（再）	スポーツ振興課	
18	1 (2) ①	ウォーキング講座（再）	屋内指定管理者	
19	1 (2) ①	スポーツ指導者派遣事業（再）	スポーツ振興課	
20	1 (2) ①	健康づくり支援事業補助金交付事業	健康推進課	
21	1 (2) ①	サーキットトレーニング	屋外指定管理者	
22	1 (2) ②	運動部活動の地域展開	スポーツ振興課	
23	1 (2) ②	マルチスポーツの推進	スポーツ振興課	
24	1 (2) ②	子どもの居場所の充実	スポーツ振興課	  
25	1 (2) ②	小学生体力づくり事業	学校教育課	
26-1	1 (2) ②	子どもスポーツ教室（幼児）の開催	屋内指定管理者	
26-2	1 (2) ②	子どもスポーツ教室（幼児）の開催	屋外指定管理者	
27	1 (2) ②	げんキッズプロジェクトの実施	こども事業課	
28	1 (2) ②	保育内容の充実	こども事業課	
29	1 (2) ②	大学とのスポーツ連携	スポーツ振興課	
30-1	1 (2) ②	子どもスポーツ教室の開催	屋内指定管理者	
30-2	1 (2) ②	子どもスポーツ教室の開催	屋外指定管理者	
31	1 (2) ②	青少年自然の家わっぱるなどでの野外活動事業	社会教育課	

事業 No.	施策体系	事業名	事業主体（所管）	フェーズ
32	1 (2) ③	スポーツ施設の計画的な改修・更新と施設機能の維持向上	スポーツ振興課	
33	1 (2) ③	スポーツ振興基金の収入確保に向けた取組み	スポーツ振興課	
34	1 (2) ③	広告収入などを活用したスポーツ振興	スポーツ振興課	
35	1 (3) ①	市民体育祭	公民館	
36	1 (3) ①	公民分館協議会各ブロックのスポーツ大会	公民館	
37-1	1 (3) ①	スポーツまちづくりイベントの実施（グリスピア等）	屋内指定管理者	
37-2	1 (3) ①	スポーツまちづくりイベントの実施（グリスピア等）	屋外指定管理者	
38	1 (3) ①	各種スポーツイベントの実施（再）	スポーツ振興課	
39	1 (3) ①	各種スポーツ大会の開催（再）	スポーツ振興課	
40	1 (3) ①	地域スポーツ活動の推進（再）	スポーツ振興課	
41	1 (3) ①	総合型地域スポーツクラブ・スポーツ振興会事業（再）	スポーツ振興課	
42-1	1 (3) ②	兄弟都市や姉妹都市、空港で結ぶ就航都市、近隣市など他市チームとの交流試合の開催	空港課	
42-2	1 (3) ②	兄弟都市や姉妹都市、空港で結ぶ就航都市、近隣市など他市チームとの交流試合の開催	魅力文化創造課	
43	1 (4) ①	運動部活動の地域展開（再）	スポーツ振興課	
44	1 (4) ①	中学校運動部活動の指導者の確保	学校教育課	
45	1 (4) ①	大学とのスポーツ連携（再）	スポーツ振興課	
46	1 (4) ①	地域スポーツ活動の推進（再）	スポーツ振興課	
47	1 (4) ②	指導者講習会・審判講習会の実施	スポーツ振興課	
48	1 (4) ②	公認資格取得のための講習会参加奨励	スポーツ振興課	
49	2①	歴史・文化財等にふれるまち歩き	魅力文化創造課 社会教育課	
50	2①	トップアスリートによる講演会や教室、交流会の実施	スポーツ振興課	
51-1	2①	スポーツまちづくりイベントの実施（グリスピア等）（再）	屋内指定管理者	
51-2	2①	スポーツまちづくりイベントの実施（グリスピア等）（再）	屋外指定管理者	
52	2②	障害児向けの各種スポーツ教室の開催	屋内指定管理者	
53	2②	障害児チャレンジスポーツの実施	屋内指定管理者	
54	2②	障害福祉センターひまわりにおけるスポーツ事業	障害福祉課	
55-1	2②	障害者スポーツ体験会	スポーツ振興課	
55-2	2②	障害者スポーツ体験会	屋内指定管理者	
55-3	2②	障害者スポーツ体験会	屋外指定管理者	
56	2③	小・中学校における体力づくり推進計画（アクションプラン）の策定	学校教育課	
57	2③	とよなかパワーアップ体操の普及（地域の通いの場づくり支援事業）	健康推進課	
58-1	2③	高齢者向け各種スポーツ教室の実施	屋内指定管理者	

事業 No.	施策体系	事業名	事業主体（所管）	フェーズ
58-2	2③	高齢者向け各種スポーツ教室の実施	屋外指定管理者	
59	2③	子どもの生活習慣の実態把握と分析	学校教育課	
60	2③	生活習慣病予防の推進（健康マイレージ事業 「おおさか健活マイレージ アスマイル」）	健康推進課 保険給付課	
61	2③	親子でエクササイズ【なわとび編・バスケ編】	健康推進課	

※ 当年度、新たに追加した事業は【新規】と表示しています。

5 資料編

(1) 豊中市スポーツ推進審議会

【目的】

地方スポーツ推進計画その他のスポーツ推進に関する重要事項の調査審議を行うため。

＜スポーツ基本計画抜粋＞

（都道府県及び市町村のスポーツ推進審議会等）

第三十一条 都道府県及び市町村に、地方スポーツ推進計画その他のスポーツの推進に関する重要事項を調査審議させるため、条例で定めるところにより、審議会その他の合議制の機関（以下「スポーツ推進審議会等」という。）を置くことができる。

ア 名簿^{※1}

	名前	所属・活動団体等
	浦 耕太郎	連合大阪豊中地区協議会
	嘉藤 博久	市民公募委員
	近藤 洋史	公民分館協議会
	榊 皇雄	大阪知的障がい者スポーツ協会
	竹澤 健介	摂南大学講師
会長	田島 良輝	大阪経済大学教授
副会長	長岡 雅美	武庫川女子大学教授
	藤原 崇	豊中市中学校体育連盟
	藤森 久美	豊中市スポーツ推進委員協議会
	松代 和子	豊中市体育連盟

※1 50音順、敬称略、所属・活動団体等は令和7年（2025年）6月21日現在

イ 検討経過

回	開催日	議事内容
第1回	令和7年(2025年) 5月9日(金)	豊中市スポーツ推進計画の進行管理について
第2回	令和7年(2025年) 9月12日(金)	豊中市スポーツ推進計画の進行管理について

(2) 個別カルテ

見方			
事業主体			
事業名			
事業内容			
事業の目標・方向性		数値目標がある場合は、こちらに記載しています。	
取組内容	定性	指標がない場合は、「－」と記載しています。	
	定量		
評価	評価区分	要因分析	評価の要因分析を記載しています。
次年度に向けて	課題	A (達成・推進) B (取り組み中) C (調査・検討中)	
	取組み		
備考			



事業 No.1

事業主体		スポーツ振興課		
事業名		市広報・ホームページ等のスポーツ情報発信		
事業内容		市広報やホームページでの各種大会や教室の情報提供を実施します。また、市民に向けてスポーツに関する意識改革のきっかけとなるような情報を発信します。		
事業の目標・方向性		市民が効率的に情報を入手できるようにするとともに、意識的・継続的に行う様々な身体活動のことを「スポーツ」として幅広くとらえ、これまでスポーツに縁のなかった方にも気軽に親しんでもらうことをめざします。		
取組内容	定性	市民大会や、市の主催事業等について、市広報及び市ホームページへ掲載するとともに、チラシやポスターを公共施設に配架及び掲示することにより情報提供を行いました。また、市公式 SNS への情報発信についても積極的に行いました。		
	定量	【指標：一】 令和 6 年度：一		
評価	評価区分	B(取り組み中)	要因分析	イベント時のアンケート結果から、広報誌を見て参加された方が多いことが分かりました。また、子ども向けのイベントについては、学校で配付されるチラシの効果が高いことも分かりました。市公式 SNS のお知らせからの流入はあまり確認されなかったため、現時点での効果は低いと想定されます。
次年度に向けて	課題	- 引き続き参加者アンケートを活用して、イベントを知った方法のデータ取得に努めます。 - 市公式 SNS のお知らせを見て参加を決めた方が少ないため、効果的な SNS の運用方法について検討する必要があります。		
	取組み	- 各種大会や教室、イベントなどの情報提供にあたっての現状の課題を整理したうえで情報発信を行います。 - 引き続き、市民大会や市の主催事業等について、広報誌及び市ホームページへ掲載するとともに、チラシやポスターを公共施設に配架及び掲示します。 - 市公式 SNS を活用して情報発信を行うとともに、イベント時に SNS 登録の周知にも取り組みます。		
備考				

事業 No.2

事業主体		スポーツ振興課		
事業名		各種スポーツ団体の情報発信の支援		
事業内容		団体のホームページでは、団体概要・取り組み・大会・講習会の案内(申込受付ができる団体もある)・大会の結果等の情報を提供しています。各種スポーツ団体のホームページに掲載されている情報を市民が効率的に入手できるよう、情報発信の仕組みの構築を検討します。		
事業の目標・方向性		市民が効率的に情報を入手できるようにするとともに、紙媒体での発信も継続し、広く周知することをめざします。		
取組内容	定性	市民が最新の情報を入手できるよう、ホームページを随時更新しています。市民大会、審判講習会のお知らせについては広報誌でも発信しています。		
	定量	【指標：一】 令和6年度：一		
評価	評価区分	A(達成・推進)	要因分析	市民が必要な情報を必要なタイミングで入手できるよう、ホームページおよび広報誌にて適切に発信しています。
次年度に向けて	課題	市民が効率的に各種スポーツ団体の情報を入手できるよう、市ホームページを整理するとともに、興味関心を惹く内容に更新する必要があります。		
	取組み	直近に大会・講習会を開催しない団体についてはホームページの更新がないため、市ホームページに団体概要や取組み内容、団体ホームページのリンク掲載等を行います。		
備考				

事業 No.3-1

事業主体		屋内指定管理者		
事業名		スポーツ施設指定管理者の情報発信		
事業内容		施設の利用案内をはじめ様々なスポーツ教室の案内を掲載するとともに、各施設へ二次元コードを掲示するなどして認知度拡大を図ります。また、IT 関連での情報を受け取れない人向けに、スポーツ教室の募集案内等（紙媒体）の配架先を拡充します。		
事業の目標・方向性		市民が効率的に情報を入手できるようにするとともに、紙媒体での発信も継続し、広く周知することをめざします。		
取組内容	定性	広報誌をはじめ、各施設ホームページより、スポーツ教室案内等の発信をいたしました。またプール教室案内については、豊中市公式 LINE より情報発信し認知度拡大を図りました。また通信を利用されない方には、ポスティングまたは各施設の掲示板にて告知を強化いたしました。		
	定量	【指標：一】 令和 6 年度：一		
評価	評価区分	A (達成・推進)	要因分析	一定の情報発信はできました。
次年度に向けて	課題	未だ屋内体育施設を利用されたことの無い方にも利用してもらうことが課題です。		
	取組み	豊中市屋内体育施設インスタグラムの開始により、各施設の情報発信と施設ご利用者からの情報発信の両方からの利用者拡大を図ることで、未だ屋内体育施設をご利用されたことのない方への情報発信を強化します。		
備考				

事業 No.3-2

事業主体		屋外指定管理者		
事業名		スポーツ施設指定管理者の情報発信		
事業内容		施設の利用案内をはじめ様々なスポーツ教室の案内を掲載するとともに、各施設へ二次元コードを掲示するなどして認知度拡大を図ります。また、IT 関連での情報を受け取れない人向けに、スポーツ教室の募集案内等（紙媒体）の配架先を拡充します。		
事業の目標・方向性		市民が効率的に情報を入手できるようにするとともに、紙媒体での発信も継続し、広く周知することをめざします。		
取組内容	定性	施設に来場される方には、気軽にご覧いただける掲示物を活用しました。さらに詳細に内容をお伝えするためにポスターには必ず二次元コードを掲載し、市や施設のホームページや SNS に連動しました。また、チラシやポスターを公共施設に配架及び掲示することにより情報提供を拡大しました。		
	定量	【指標：一】 令和 6 年度：一		
評価	評価区分	A (達成・推進)	要因分析	アンケートとヒアリングにより、イベント、教室では、広報誌やホームページによる情報発信のニーズが高いことが分かりました。IT 関連での情報発信と、広報誌や紙媒体の情報発信の二本立てを継続し目標を達成できました。
次年度に向けて	課題	SNS（豊中市屋外体育施設公式Instagram）をより多くの方に知ってもらうように引き続き情報発信に努める必要があります。		
	取組み	SNS(豊中市屋外体育施設公式Instagram)の投稿頻度を上げるとともに、引き続き、イベント、教室について、ポスター掲示とチラシ配布、広報誌、各ホームページなど幅広い情報発信により、多くの層に情報提供を行います。動きがある方がわかりやすいものには動画での配信を実施します。		
備考				

事業 No.4

事業主体		スポーツ振興課		
事業名		ラジオ体操やウォーキングの推進		
事業内容		「健康・体力づくり」を目的にスポーツを行っている市民が多いことから、ラジオ体操やウォーキングを推進し、気軽にスポーツに参加できるきっかけづくりを強化します。		
事業の目標・方向性		ウォーキングイベントの実施やラジオ体操の普及・促進に努めることで、市民の「健康・体力づくり」に寄与します。 【参加者：22,057 人】		
取組内容	定性	ラジオ体操の推進に努めています。ウォーキング事業は東西軸活性化事業の一環として取り組みました。具体的には、10 月 豊島公園～服部緑地公園およびロゲイニング・3 月 豊島公園～クリーンランドひろばです。		
	定量	【指標：ラジオ体操及びウォーキングイベントの参加者数】 令和 6 年度：10,444 人		
評価	評価区分	B(取り組み中)	要因分析	市主催事業にラジオ体操を積極的に取り入れ、ウォーキング事業では継続を希望する声をいただいています が、参加者数は目標に達しませんでした。
次年度に 向けて	課題	地域におけるラジオ体操の普及を継続します。ウォーキング事業に老若男女が参加するよう、事業内容を見直し、広い世代の参加を促す必要があります。		
	取組み	引き続きスポーツ推進委員による正しいラジオ体操の普及・促進を行います。ウォーキング事業について、市公式 Instagram を用いて様子を発信し、事業を周知します。 また、イベント参加者へのマチカネポイント付与等マチカネポイントを活用し、事業の普及・促進を図ります。		
備考				

事業 No.5

事業主体		屋内指定管理者		
事業名		ウォーキング講座		
事業内容		高齢者が集まりやすい場所で、簡単な体操プログラムや、ウォーキング講座を実施し、身近で運動ができる機会の増加を図ります。		
事業の目標・方向性		ウォーキングイベントの実施回数や開催場所を増やすことで、気軽な体験によるスポーツの実行支援を図ります。 【実施回数：1回】		
取組内容	定性	体育館施設においては、定期的にラジオ体操を実施いたしました。また、ニューススポーツ用具の貸出も行いました。		
	定量	【指標：実施回数】 令和6年度：0回		
評価	評価区分	B(取り組み中)	要因分析	体育館で施設利用者向けにラジオ体操を実施いたしました。
次年度に向けて	課題	令和7年5月24日に千里中央公園指定管理者と共催で「チャレンジ歩行で健康寿命を伸ばそう」イベントを開催予定でしたが雨天の為中止となりました。11月13日に開催予定でございます。		
	取組み	千里中央公園指定管理者と共催で、ウォーキング講座を実施いたします。2025年10月13日		
備考				

事業 No.6

事業主体		スポーツ振興課		
事業名		スポーツ用具等貸出事業		
事業内容		地域で、ニュースポーツや体力テストを行う場合に関連用具の無料貸出を行い、市民がスポーツに参加するきっかけづくりを図ります。		
事業の目標・方向性		スポーツ用具等の無料貸出を行うことで、各種スポーツへの参加や、体力テストの実施等を容易にします。 【貸出回数：58回】		
取組内容	定性	スポーツ用具を容易に借りる仕組みを構築し、市民が手軽にスポーツを実施できるように努めています。		
	定量	【指標：スポーツ用具貸出回数】 令和6年度：107回		
評価	評価区分	A(達成・推進)	要因分析	ニュースポーツや体力テストの用具を貸出し、市民のスポーツへの参加の機会を確保しています。
次年度に向けて	課題	今までに利用したことがない人にもスポーツ用具貸出事業を活用してもらうために、情報発信が必要です。		
	取組み	体育施設への貼紙など、スポーツ用具の貸出事業を多くの人に周知します。		
備考				

事業 No.7

事業主体		スポーツ振興課		
事業名		スポーツ指導者派遣事業		
事業内容		地域スポーツの普及啓発を図るため、地域等からスポーツ指導者の派遣依頼があった時、内容に応じた指導者を派遣します。		
事業の目標・方向性		依頼内容に応じた指導者を派遣することで、きめ細かな地域スポーツの普及・振興に取り組みます。 【派遣数：50 人】		
取組内容	定性	地域の依頼に応じて指導者を派遣し、地域スポーツの普及啓発を図っています。		
	定量	【指標：スポーツ指導者の派遣数】 令和6年度：28 人		
評価	評価区分	B(取り組み中)	要因分析	地域のニーズに応じた指導者を派遣し、地域スポーツの普及啓発を行っています。
次年度に向けて	課題	今までに利用したことがない人にもスポーツ指導者派遣事業を活用してもらうために、情報発信が必要です。		
	取組み	体育施設への貼紙など、スポーツ指導者派遣事業を多くの人に周知します。		
備考				

事業 No.8

事業主体		スポーツ振興課		
事業名		スポーツの日の事業の開催		
事業内容		広く市民にスポーツの普及、振興を図るため、スポーツの日に体力テストやさまざまなスポーツイベントを開催します。		
事業の目標・方向性		スポーツの日に新体力テストや親しみやすいスポーツイベントを開催することで、老若男女問わず、広く市民にスポーツの普及・振興を図ります。 【参加者数：200 人】		
取組内容	定性	スポーツの日に新体力テストとニュースポーツ体験会を実施し、老若男女が参加しました。		
	定量	【指標：参加者数】 令和 6 年度：202 人		
評価	評価区分	A (達成・推進)	要因分析	スポーツの日に新体力テストとニュースポーツ体験会を実施し、広く市民にスポーツの振興を図りました。
次年度に向けて	課題	スポーツに関心の薄い市民や、参加率の低い年齢層(20 代～40 代) にアプローチし、これまでよりも広く市民にスポーツの振興を図ります。		
	取組み	参加者に参加したきっかけや目にした情報媒体を確認し、整理します。整理した情報をもとに情報発信の工夫を図り、広く市民に周知します。 引き続き、マチカネポイント付与による事業の普及・促進を図ります。		
備考				

事業 No.9

事業主体		屋内指定管理者		
事業名		ライフステージに応じたプログラムの開発と普及		
事業内容		スポーツを実施する機会が少ない人や子育て世代が気軽に参加できる、健康プログラムの開発を検討します。 健康づくりや体力づくり等、運動する目的が明確な人びとに向けては、進捗状況を確認しながら、目的・目標に応じた運動指導を行います。		
事業の目標・方向性		あらゆる方を対象にした多彩な事業を展開することで、幅広い世代へのスポーツ機会の創出を図ります。 【参加者数：4,549 人】		
取組内容	定性	各種スポーツ教室や自主事業教室の開催、豊中市健康推進課が開催する健康出張セミナーにおける指導者派遣を行いました。また、TANITA 体組成計で無料測定会を柴原体育館・千里体育館・豊島体育館・高川スポーツルーム・武道館ひびきにて各施設年 4 期間ずつ実施しました。		
	定量	【指標：参加者数】 令和 6 年度：4,782 人		
評価	評価区分	B(取り組み中)	要因分析	各種スポーツ教室や自主事業教室の開催、健康出張セミナー開催における指導者派遣を実施し、市民の方に運動するきっかけ作りを提供いたしました。 また、TANITA 体組成計で無料測定会を実施し、ご自身の体の現状把握や今後の目標設定にお役立ていただき、教室参加・トレーニング室利用誘導に繋げることができました。
次年度に向けて	課題	引き続き、スポーツを実施する機会が少ない人にスポーツ機会を創出するとともに、運動する目的が明確な人に向けては、目的・目標に応じた運動指導を行う必要があります。		
	取組み	引き続き教室開催と、他団体からも要請がございましたら、積極的に協力をいたします。		
備考				

事業 No.10

事業主体		スポーツ振興課		
事業名		各種スポーツイベントの実施		
事業内容		市民だれもが参加できるような、ニーズに沿ったスポーツイベントを実施し、市民のスポーツ活動の裾野を広げます。 また、民間事業者や大学、NPO 法人等と連携し、多様なスポーツ機会の充実を図ります。		
事業の目標・方向性		市民が気軽にスポーツに親しむことができるようなイベントを実施し、幅広い世代に対してスポーツ機会の創出に取り組みます。 【実施回数：5回】		
取組内容	定性	『キッズベースボールフェスタ（大谷選手寄贈グローブの活用）』（4月）、『バスケットボールフェスタ』（9月）、『とよなか横断ファンロゲイニング』（11月）、『フラッグフットボール体験会』（2月）、『トライウォーキング』（10月、3月）等、多様なイベントを実施しました。		
	定量	【指標：市主催スポーツイベントの実施回数】 令和6年度：6回		
評価	評価区分	A(達成・推進)	要因分析	大学や一般社団法人等と連携することで、イベントを実施しました。 広報誌やSNS等で情報を発信し、広く市民に参加を呼び掛けました。
次年度に向けて	課題	幅広い世代に参加してもらえるよう、イベントを実施する必要があります。		
	取組み	他事業の対象者や市民のニーズを考慮し、幅広い世代に参加してもらえる内容のイベントを企画します。		
備考				

事業 No.11-1

事業主体		屋内指定管理者		
事業名		各種スポーツ教室の開催		
事業内容		年代別・種目別の各種スポーツ教室を開催します。また、新しい方が参加していただけるよう新たな教室の提供を進めます。		
事業の目標・方向性		利用者のニーズや目的に応じた多彩なスポーツ教室を用意することで、幅広い世代へのスポーツ機会の創出を図ります。 【延参加者数：212,300 人】		
取組内容	定性	利用者のニーズや目的に合わせた教室を開催いたしました。コアクロス・ロコモ予防体操・バスケット教室・ピラティス等設定し、ご参加いただきました。		
	定量	【指標：延参加者数】 令和 6 年度：224,460 人		
評価	評価区分	B(取り組み中)	要因分析	ご利用者様のニーズに合わせた教室を開催いたしました。
次年度に向けて	課題	より新しい市民の方に参加いただけるよう、更に認知度をあげていくことが課題となります。		
	取組み	施設をご利用されていない市民の方へ認知度をあげるためホームページや SNS を活用し、各種スポーツ教室についての情報提供を行います。		
備考				

事業 No.11-2

事業主体		屋外指定管理者		
事業名		各種スポーツ教室の開催		
事業内容		年代別・種目別の各種スポーツ教室を開催し、参加者の増加に向けた広報の強化を図ります。また、障害者向けやダンス教室、夏休みジュニア短期テニス教室を検討します。		
事業の目標・方向性		利用者のニーズや目的に応じた多彩なスポーツ教室を用意することで、幅広い世代へのスポーツ機会の創出を図ります。 【実施回数】 3,393 回		
取組内容	定性	通常テニス教室に加え、60 分の短い時間でテニスの球出し・ショット練習を設け、気軽にテニスの時間を楽しんでいただける多様化したクラスを増設しました。また、グリーンスポーツセンターでは、経験者向けジュニアテニス教室のみでしたが、初級クラスを設け、新たな参加者を増員できました。		
	定量	【指標：実施回数】 令和 6 年度：3656 回		
評価	評価区分	A (達成・推進)	要因分析	教室体験会の回数を増やし、短期スポーツ教室を開催できました。また、利用者のニーズや目的に応じた多彩なスポーツ教室を用意することで、幅広い層のスポーツ機会の創出を図ることができました。
次年度に向けて	課題	利用者ニーズに合致した教室開催を図り、気軽な体験により、幅広い層の方々に体を動かす楽しさを知ってもらい、スポーツ機会の創出につなげる必要があります。		
	取組み	利用者アンケートを行い利用者ニーズの把握に努めます。スポーツ短期教室の開催や体験会の開催の回数を増やしてスポーツ機会の創出につなげます。		
備考				

事業 No.12

事業主体		スポーツ振興課		
事業名		各種スポーツ大会の開催		
事業内容		年齢(年代)別・対象別(小・中・高・一般・壮年等)の大会を実施するとともに、広報の強化を図ります。		
事業の目標・方向性		幅広い世代が参加できる各種スポーツ大会について、広く情報を発信し、参加者の増加を図ります。 【参加者数：32,064 人】		
取組内容	定性	年間を通して、各種市民大会及び補助事業を実施しました。(計 27 回) ホームページ・広報誌で周知を行い、広く市民の参加を呼びかけました。		
	定量	【指標：市民大会及び補助事業の参加者数】 令和 6 年度：26,735 人		
評価	評価区分	B(取り組み中)	要因分析	市民大会について、市ホームページ等で情報を発信し、広く市民に参加を呼び掛けました。
次年度に向けて	課題	参加者が集まらない種目について、大会内容の見直しが必要です。		
	取組み	参加者数の少ない種目や対象区分の見直しに向けて、参加者のニーズを把握する等、検討を進めます。		
備考				

事業 No.13

事業主体		スポーツ振興課		
事業名		地域スポーツ活動の推進		
事業内容		スポーツ推進委員が中心となり、体力テストやニュースポーツ教室等を実施するとともに、委員の質の向上をめざした研修会を開催し、地域とのコミュニケーションのとれる体制・組織づくりに努めます。		
事業の目標・方向性		スポーツ推進委員が各地域でニュースポーツなどの指導や助言を行い、地域スポーツの普及・振興に取り組みます。また、スポーツ推進委員のスキルアップにつながる研修などを実施します。		
取組内容	定性	スポーツ推進委員が各地域でニュースポーツの指導を行い、普及促進に努めています。また委員は各種研修会に参加し、各々質を高めています。		
	定量	【指標：一】 令和6年度：一		
評価	評価区分	A(達成・推進)	要因分析	多くのスポーツ推進委員が地域でのニュースポーツの指導やスポーツイベントの企画・実施に参画しました。
次年度に向けて	課題	参画するスポーツ推進委員に偏りが生じています。		
	取組み	若手委員や初任者委員の参加を促すため、委員同士の良好な関係性を構築します。		
備考				

事業 No.14

事業主体		スポーツ振興課		
事業名		総合型地域スポーツクラブ・スポーツ振興会事業		
事業内容		生涯を通じてスポーツに親しめる環境を身近な地域に整える総合型地域スポーツクラブについて、「住民主体」によって地域スポーツの推進を図るため、自立に向けた支援をします。		
事業の目標・方向性		幅広い世代が身近なところで気軽に参加できる地域スポーツ活動の機会を創出し、参加促進を図ります。		
取組内容	定性	ニュースポーツやバレーボール等多様なスポーツ活動を定期的に行いました。「子どもテニス教室」では、屋外体育施設指定管理者から指導員を月に1回派遣することで、事業を実施しました。		
	定量	【指標：一】 令和6年度：一		
評価	評価区分	A(達成・推進)	要因分析	屋外体育施設指定管理者と連携することで事業を実施しました。 館内掲示等により事業周知を行いました。
次年度に向けて	課題	総合型地域スポーツクラブが自主運営できるよう、会員や若い指導者の確保が必要です。		
	取組み	総合型地域スポーツクラブが自立して継続的にクラブ運営を行うことができるよう、指導者の支援や広報活動の場を提供しPR活動を行います。		
備考				

事業 No.15

事業主体		はぐくみセンターこども支援課		
事業名		子育て支援センターにおける運動機会の充実		
事業内容		親子でふれあい、遊びながら体を動かすことに親しんでもらうための遊びの場を提供し、親子の交流を深める機会として遊びの内容の充実を図ります。		
事業の目標・方向性		乳幼児対象の交流の場（ほっこりひろば）でふれあい遊びを行い体を動かす機会を設けます。 【参加者数：1,000 人】		
取組内容	定性	0 歳～1 歳半児を月齢別にわけ、交流の場（ほっこりひろば）を行いました。その中でふれあい遊びを実施し、親子で体を動かす機会を設けました。 ≪内訳≫ ・0～5 か月ほっこりひろば…674 人 ・6～8 か月ほっこりひろば…712 人 ・9～11 か月ほっこりひろば…558 人 ・1 歳～1 歳半ほっこりひろば…826 人		
	定量	【指標：参加者数】 令和 6 年度：1,944 人		
評価	評価区分	A (達成・推進)	要因分析	・施設の仮移転に伴い実施場所や方法に制限がありましたが、おおむね移転前と同程度を維持することができたためです。
次年度に向けて	課題	対象の利用者により広く知ってもらい参加を促していきます。		
	取組み	引き続き 0 歳～1 歳半までを対象に交流の場（ほっこりひろば）でふれあい遊びを行い、体を動かす機会を保障していきます。		
備考				

事業 No.16

事業主体		屋内指定管理者		
事業名		親子ふれあい事業		
事業内容		就学前の親子を対象に、親子でふれあい、遊びながら体を動かすことに親しんでもらうための遊びの場や機会を提供するとともに、内容の充実を図ります。		
事業の目標・方向性		就学前の親子を対象に、親子でふれあい、遊びながら体を動かすことに親しんでもらうための遊びの場や機会を提供するとともに、内容の充実を図ります。 【実施回数】 40 回		
取組内容	定性	武道館ひびきにおきまして、毎週金曜日 9：00－17：00 まで第 1 競技場を通年 44 回提供し、あそびながら体を動かすことに親しんでいただきました。		
	定量	【指標：実施回数】 令和 6 年度：44 回		
評価	評価区分	A (達成・推進)	要因分析	利用者からの他の方への促進により、利用者増となりました。
次年度に向けて	課題	新規の親子に参加いただくことが課題です。		
	取組み	新規の親子にもご参加いただけるよう、施設からの案内を強化いたします。豊中市屋内体育施設インスタグラムからの情報提供による利用促進を図ります。		
備考				

武道館ひびき



事業 No.17

事業主体		スポーツ振興課		
事業名		ラジオ体操やウォーキングの推進（再）		
事業内容		「健康・体力づくり」を目的にスポーツを行っている市民が多いことから、ラジオ体操やウォーキングを推進し、気軽にスポーツに参加できるきっかけづくりを強化します。		
事業の目標・方向性		ウォーキングイベントの実施やラジオ体操の普及・促進に努めることで、市民の「健康・体力づくり」に寄与します。 【参加者数：22,057 人】		
取組内容	定性	ラジオ体操の推進に努めています。ウォーキング事業は東西軸活性化事業の一環として取り組みました。具体的には、10 月 豊島公園～服部緑地公園およびロゲイニング・3 月 豊島公園～クリーンランドひろばです。		
	定量	【指標：ラジオ体操及びウォーキングイベントの参加者数】 令和 6 年度：10,444 人		
評価	評価区分	B(取り組み中)	要因分析	市主催事業にラジオ体操を積極的に取り入れ、ウォーキング事業では継続を希望する声をいただいています が、参加者数は目標に達しませんでした。
次年度に 向けて	課題	地域におけるラジオ体操の普及を継続します。ウォーキング事業に老若男女が参加するよう、事業内容を見直し、広い世代の参加を促す必要があります。		
	取組み	引き続きスポーツ推進委員による正しいラジオ体操の普及・促進を行います。ウォーキング事業について、市公式 Instagram を用いて様子を発信し、事業を周知します。 また、イベント参加者へのマチカネポイント付与等マチカネポイントを活用し、事業の普及・促進を図ります。		
備考				

事業 No.18

事業主体		屋内指定管理者		
事業名		ウォーキング講座（再）		
事業内容		高齢者が集まりやすい場所で、簡単な体操プログラムや、ウォーキング講座を実施し、身近で運動ができる機会の増加を図ります。		
事業の目標・方向性		ウォーキングイベントの実施回数や開催場所を増やすことで、気軽な体験によるスポーツの実行支援を図ります。 【実施回数】 1回		
取組内容	定性	体育館施設においては、定期的にラジオ体操を実施いたしました。また、ニュースポーツ用具の貸出も行いました。		
	定量	【指標：実施回数】 令和6年度：0回		
評価	評価区分	B(取り組み中)	要因分析	ラジオ体操を実施し、施設利用者に参加いただきました。
次年度に向けて	課題	引き続き、身近で運動ができる機会の増加を図る必要があります。		
	取組み	引き続きラジオ体操を開催します。千里中央公園を利用してノルディックウォーキングを開催予定です。		
備考				

事業 No.19

事業主体		スポーツ振興課		
事業名		スポーツ指導者派遣事業（再）		
事業内容		地域スポーツの普及啓発を図るため、地域等からスポーツ指導者の派遣依頼があった時、内容に応じた指導者を派遣します。		
事業の目標・方向性		依頼内容に応じた指導者を派遣することで、きめ細かな地域スポーツの普及啓発に取り組みます。 【派遣数：50 人】		
取組内容	定性	地域の依頼に応じて指導者を派遣し、地域スポーツの普及啓発を図っています。		
	定量	【指標：スポーツ指導者の派遣数】 令和 6 年度：28 人		
評価	評価区分	B (取組み中)	要因分析	地域のニーズに応じた指導者を派遣し、地域スポーツの普及啓発を行っています。
次年度に向けて	課題	今までに利用したことがない人にもスポーツ指導者派遣事業を活用してもらうために、情報発信が必要です。		
	取組み	体育施設への貼紙など、スポーツ指導者派遣事業を多くの人に周知します。		
備考				

事業 No.20

事業主体		健康推進課		
事業名		健康づくり支援事業補助金交付事業		
事業内容		市民に対し、健康について関心を持ってもらうと同時に、フレイルを予防するための、ライフスタイルにあった運動ができる機会をみつけ、日常の中で継続できる運動習慣をつけるきっかけを提供する民間事業者等に対し、当該事業に要する経費の一部を補助するものです。		
事業の目標・方向性		目標参加人数は延べ 2,000 人としました。市民が興味のある多様なメニューを選択できるように「通年コース」、「イベントコース」を設定し、通年での実施が難しい事業者も参画できるようにするとともに、こども政策の充実・強化に向けた取組みの一環として、親子枠を創設しました。 【延べ参加人数】 2,000 人		
取組内容	定性	下記の通り実施しました。 ・実施期間：令和 6 年 7 月～令和 7 年 3 月 ・事業数等：12 事業（うち通年 8、イベント 4 事業、うち親子枠 10 事業） ・開催総数：161 回 ・延べ参加数：1,922 人（令和 6 年度 目標総数 2,000 人）		
	定量	【指標：延べ参加人数】 令和 6 年度：1,922 人		
評価	評価区分	B(取り組み中)	要因分析	目標参加人数の総数 2,000 人に対して、1,922 人、達成率 96%でした。事業単位でみると、目標参加人数の 60%を超える事業が 9 事業あった一方、60%に満たない事業が 3 事業ありました。
次年度に向けて	課題	昨年度に引き続き指標としてはほぼ達成したものの、事業によって参加人数に開きがある点、目標参加人数 60%未満の 3 事業については共通して周知に苦労していました。当課においても広報誌への掲載、市ホームページ、SNS 等周知に手を尽くしているものの、目標達成に至っていない点が課題です。		
	取組み	本事業においては、参加者の満足度は高い結果となっており、次年度についても多くの手法を用いて新たな周知方法等を検討し、参加者増加および目標達成に向けて取組みを進めます。		
備考		令和 5 年度追加事業 ・事業名を「コロナ健康支援事業補助金交付事業」から「健康づくり支援事業補助金交付事業」に変更しました。それに伴い、事業内容、事業の目標・方向性を修正しました。		

事業 No.21

事業主体		屋外指定管理者		
事業名		サーキットトレーニング		
事業内容		J-サーキットマシーンを使ってリズミカルに短時間で無理なく楽しく有酸素運動を行い、グリーンスポーツセンターみつばの花での新たな地域の交流とスポーツ推進のための場づくりを行います。		
事業の目標・方向性		参加者が安全に運動を継続できるよう、器具の使い方の紹介やプログラムを提供することで、スポーツによる健康増進を図ります。 【実施回数】90回		
取組内容	定性	グリーンスポーツセンターみつばの花で無料で参加できるサーキットトレーニングを毎週土曜日に加え木曜日午後も開催したことで、高齢者の方や幅広い年齢層にも多く参加いただき、気軽に取り組めるスポーツ機会の創出を果たすことができました。		
	定量	【指標：実施回数】 令和6年度：95回		
評価	評価区分	A(達成・推進)	要因分析	グリーンスポーツセンターみつばの花では、毎週2回木曜日午後と土曜日午前に無料で参加できるサーキットトレーニングを開催したことで、開催ごとに参加者数が増えました。
次年度に向けて	課題	開催ごとに参加者数が増加しているため、今後も安全に配慮しながら、定着してスポーツをする機会を創出する必要があります。		
	取組み	定着してスポーツをする機会を創出するために、サーキットトレーニング参加者に当施設でのスポーツ教室やスポーツ体験会を案内します。		
備考		令和5年度追加事業		

事業 No.22

事業主体		スポーツ振興課		
事業名		運動部活動の地域展開		
事業内容		将来にわたり子どもがスポーツに継続して親しむことができる機会を確保するために、運動部活動の地域移行の方策を検討し、取り組みます。		
事業の目標・方向性		合同部活動の導入、部活動指導員や地域クラブ活動等の地域の人材を活用することにより、生徒の活動機会の確保を図ります。		
取組内容	定性	ラグビー部と剣道部の地域展開の実証事業を実施しました。 ラグビー部では、平日においても自校に部活動がない生徒がラグビーを実施できるようにするため拠点校方式の合同部活動の制度を創設しました。 剣道部では、既存の地域団体と連携し休日の活動について学校部活動から地域クラブ活動への移行に取り組みました。 両種目での実証事業を通して、子どもたちが希望する活動に取り組むための環境整備を検討しました。		
	定量	【指標：－】 令和6年度：－		
評価	評価区分	B(取り組み中)	要因分析	新たに制度化した拠点校方式の合同部活動により、北部と南部に1校ずつ拠点校を設置し、平日においても希望する生徒がラグビーに取り組むことができました。 剣道においては、令和6年度の3年生引退後に休日の活動を地域クラブ活動として取り組みました。 限定的ではありますが、子ども達自身が希望する活動を実施できる整備を進めています。
次年度に向けて	課題	・地域クラブ活動への移行を進めていくにあたり、活動場所となる学校施設の使用ルールや設備の整備が必要になります。 ・豊中市としての地域展開の方針を策定し、各所への周知が必要になります。 ・これまでラグビーや剣道と種目を絞った実証を続けていましたが、今後は取り組む種目拡大の必要があります。		
	取組み	・学校施設の使用に関しては、現在の学校施設開放の規約や使用している団体との調整が必要になるため、まずは関係課との調整を行います。 ・今後の部活動地域展開の方針を策定し、ホームページでの公開や関係団体への説明を行います。 ・地域クラブの種目拡大にあたり、部活動地域展開に係る豊中市地域クラブの認定要件の策定及び団体公募を行います。		
備考		令和5年度追加事業 事業名を「運動部活動の地域移行」から「運動部活動の地域展開」に変更しました。		



事業 No.23

事業主体		スポーツ振興課		
事業名		マルチスポーツの推進		
事業内容		マルチスポーツ推進の実証を進め、子どもたちが様々なスポーツを経験できる仕組みを構築し、スポーツイベントや運動部活動の地域移行などの事業へ展開できるよう、取り組みます。		
事業の目標・方向性		学童期に様々なスポーツを経験できる機会を創出することで、運動部活動や生涯スポーツへの参加促進につなげます。 【参加者数：200 人】		
取組内容	定性	スポーツに関する専門的な知見や情報等を有する大学と連携したマルチスポーツ体験教室を市内4 体育館で実施しました。		
	定量	【指標：マルチスポーツ体験教室の参加者数】 令和6 年度：173 人		
評価	評価区分	A (達成・推進)	要因分析	大学によるマルチスポーツ体験プログラムを実施することで、様々なスポーツを体験する機会を提供することができました。
次年度に向けて	課題	様々なスポーツが体験できる機会を創出するために、多様なスポーツが体験できる環境（ソフト面・ハード面）を整える必要があります。		
	取組み	大学・屋内体育施設等指定管理者と協力して、新たなスポーツプログラムを提供します。		
備考		令和5 年度追加事業		

市ホームページで、令和6 年度「マルチスポーツ体験教室」の様子をご覧ください。



事業 No.24

事業主体		スポーツ振興課		
事業名		子どもの居場所の充実		
事業内容		子どもたちが、スポーツ施設だけでなく、公園や広場、沿道など人が行きかう身近なオープンスペースを活用し、運動遊びやボール遊びなど気軽にスポーツができる場の創出に向けた取り組みを進めます。		
事業の目標・方向性		子どもの居場所づくりを推進し、気軽にスポーツができる場の創出を図ります。		
取組内容	定性	体育施設への子ども子育てホッとスペースやクール自習室の設置により、子どもの居場所を創出できました。また、市内在住の小学生が体育施設の個人使用を無償で利用できることを指定管理者と連携して周知しました。グリーンスポーツセンターでは、校区の第七中学校と連携し、自分たちで考える居場所づくりのワークショップを実施しました。		
	定量	【指標：－】 令和6年度：－		
評価	評価区分	B(取り組み中)	要因分析	体育施設への子ども子育てホッとスペースやクール自習室を設置することで、子どもの居場所の充実に寄与しました。体育施設の個人使用についても、無償化の対象である市内在住の小学生の利用が多かったことから、子ども達の居場所になっていると想定されます。グリーンスポーツセンターでは、生徒の発案によるダンスルームやボードゲームの新設を行い、子ども達の居場所の1つとなりました。
次年度に向けて	課題	・体育施設の子ども子育てホッとスペースやクール自習室について、子どもの居場所として活用してもらえるよう周知を行う必要があります。 ・市内在住の小学生の体育施設の個人使用料の無償化を活用し、子ども達が居場所として更に活用してもらえるよう、方策を検討する必要があります。 ・ワークショップを通してできたグリーンスポーツセンターの子ども居場所についても、更に多くの子ども達の利用を促進するための情報発信が必要です。		
	取組み	・子どもの居場所として活用してもらえるように、学校へのチラシ配付や市公式 SNS を活用した周知を行います。 ・体育館について、子どもが利用しやすいよう、利用枠や利用方法、利用種目等について方策を検討します。 ・グリーンスポーツセンターのダンスルームやボードゲームについて、利用増進に向けた広報活動やイベント企画などを検討します。		
備考		令和5年度追加事業		



事業 No.25

事業主体		学校教育課		
事業名		小学生体力づくり事業		
事業内容		器械運動や縄跳び、ボール運動などから、各小・義務教育学校（前期課程）が児童の体力課題などに応じて選択した内容の体育授業に対して、専門の指導者を派遣することで、児童の運動に対する関心や意欲を高めることや、教職員が体育の授業における効果的な指導方法を習得することにつなげます。		
事業の目標・方向性		令和５～７年の３年間で、全市立小・義務教育学校（前期課程）へ指導者を派遣します。		
取組内容	定性	令和６年度は小学校２０校の体育授業へ、学校が選択した種目等の専門指導者を派遣し、児童の運動に対する関心や意欲を高めるとともに、教職員が体育の授業における効果的な指導方法を習得することにつなげました。		
	定量	【指標：一】 令和６年度：一		
評価	評価区分	B(取り組み中)	要因分析	３か年の計画で実施する２年目にあたるため。前年度に実施済の多数の学校から、継続して実施したい旨の要望があり、実施後のアンケートからも児童の運動に対する関心や意欲の向上が見られたことから、児童や教職員のニーズに合致した効果的な事業実施となっていると考える。
次年度に向けて	課題	今年度（令和７年度）が３か年計画の最終年度にあたるため、より児童の運動意欲等の向上に効果的なものとなるように、次年度以降の本事業のあり方について検討する必要があります。		
	取組み	アンケート等により把握した児童の実態や学校からの声等を踏まえながら、既存の事業者等以外とも調整を行い実施メニューを増やすなど、来年度以降の本事業の実施についての検討を進めます。		
備考		令和５年度追加事業		

事業 No.26-1

事業主体		屋内指定管理者		
事業名		子どもスポーツ教室（幼児）の開催		
事業内容		特定のスポーツに縛られず幼児の運動能力の開発、体を動かす事の楽しさを知ることができる取り組みをいたします。		
事業の目標・方向性		幼児向けのスポーツ教室を開催し、体を動かす遊びを通じて多様な動きを経験してもらうことで、子どもたちの柔軟性・バランス・持久力の向上につなげます。 【延参加者数】 32,528 人		
取組内容	定性	計画通り教室開催をいたしました。定員に達していない教室に関しては、体験コースを設け、お子様にあった教室を選択していただけるようにしました。また体験からの継続率も高く体験コースの効果がありました。		
	定量	【指標：延参加者数】 令和6年度：34,000 人		
評価	評価区分	A (達成・推進)	要因分析	計画通り教室開催をいたしました。定員に達していない教室に関しては、体験コースを設け、お子様にあった教室を選択していただけるようにしました。また体験からの継続率も高く体験コースの効果がありました。
次年度に向けて	課題	定員未達の教室に対して、参加者が増えるよう取り組む必要があります。		
	取組み	定員未達の教室に対して、ホームページ・ポスティング・小学校チラシ配布等により周知を行います。		
備考				

事業 No.26-2

事業主体		屋外指定管理者		
事業名		子どもスポーツ教室（幼児）の開催		
事業内容		運動の基本動作を遊びの中で楽しみながら習得していきます。4・5・6歳児は、成長の著しいこの時期に走る、投げる、転がる等の動作を通じて楽しみながら、スポーツの基本動作の習得を行います。		
事業の目標・方向性		幼児向けのスポーツ教室を開催し、体を動かす遊びを通じて多様な動きを経験してもらうことで、子どもたちの柔軟性・バランス・持久力の向上につなげます。 【実施回数】 477 回		
取組内容	定性	特に送迎を必要とする幼児向けのテニス教室の需要が減少傾向にあるため、無料教室体験会を実施し、年齢の低い子どもにもスポーツをするきっかけ作りの機会を設けました。運動会形式（グリスボ MAX）では、お子様連れのファミリーが様々な遊びを交えて、体を動かすスポーツイベント開催で盛り上げました。		
	定量	【指標：幼児対象テニス体験会の年間実施回数】 令和6年度：493 回		
評価	評価区分	A (達成・推進)	要因分析	幼児向けのテニス無料教室やイベントで体験会を実施することで、年齢の低い子どもにもスポーツをする機会を設けました。 お子様連れのファミリーが休日に参加しやすいよう、様々な遊びを交えた運動会形式（グリスボ MAX）のイベントを開催し、盛り上がったため。
次年度に向けて	課題	幼児向けのテニス教室の参加者が、どの施設も減少してきていることが課題です。		
	取組み	無料体験会の実施回数を増やし、広報誌や SNS で情報を発信することで、認知を広げ教室参加につなげます。		
備考				

事業 No.27

事業主体		こども事業課		
事業名		げんキッズプロジェクトの実施		
事業内容		子どもたちが主体的に自分のやりたいことに向かって身体を動かす経験をすることで身体を動かすことが楽しくなることをめざし、市立こども園において、指導者を招聘し、乳幼児や職員への運動指導を実施します。		
事業の目標・方向性		子どもたちが主体的に自分のやりたいことに向かって身体を動かす経験をすることで身体を動かすことが楽しくなることをめざします。		
取組内容	定性	運動遊びの専門講師から直接指導を受け、身体をつかった遊びを経験するとともに、運動遊びの実施方法や環境の工夫を学ぶことができました。 また、指導された内容を日々の教育保育の中で取り組みました。		
	定量	【指標：一】 令和6年度：一		
評価	評価区分	B(取り組み中)	要因分析	市立こども園において、乳幼児や職員が年4回、運動遊びの専門講師から直接指導を受け、身体を使った遊びを経験するとともに、運動遊びの実施方法や環境の工夫を学ぶことができました。
次年度に向けて	課題	園生活の中でけがをする子どもが多いことから、体幹や身体のバランス力の強化を図るべく、引き続き運動遊びを経験する取り組みを実施する必要があります。		
	取組み	専門講師による子ども達への指導とともに、園職員の指導力の向上を図り、年間を通した子どもの体力の向上及び体幹の強化をめざします。		
備考				

事業 No.28

事業主体		こども事業課		
事業名		保育内容の充実		
事業内容		乳幼児期の子どもたちが、様々な人やものとの関わりを通して多様な体験をし、自分の動きを調整するなど心身の調和のとれた発達ができるよう、就学前施設職員に定期的に研修を実施し、保育内容の充実を図ります。		
事業の目標・方向性		保育士や幼稚園教諭が、子どもの発達や年齢に応じた身体の動きについて学び合い、子どもたちの心身の調和のとれた発達や主体性を育みます。		
取組内容	定性	公民の就学前施設職員向け研修「豊中市就学前教育保育研修」にて、子どもの発達に応じた運動遊びと主体性についての研修を実施しました。		
	定量	【指標：一】 令和6年度：－		
評価	評価区分	B(取り組み中)	要因分析	研修をとおして、公民の就学前施設職員が互いの実践を持ち寄り交流できました。年齢に応じた身体の動きについて実践に結び付けて学ぶことができました。
次年度に向けて	課題	より多くの職員に研修を受講いただくよう、今年度に引き続き、実践研修を行っていきます。		
	取組み	乳幼児が体を動かす遊びを通じて多様な動きを経験することにつながる内容の研修を実施し、職員の指導力の向上を図ります。		
備考				

事業 No.29

事業主体		スポーツ振興課		
事業名		大学とのスポーツ連携		
事業内容		大学との連携により、「とよなかキッズ！あそび＆スポーツ☆ぶろぐらむ」の実施など、子どもたちがからだを動かすことの楽しさや気持ちよさを感じてもらえるよう運動プログラムの開発と実践を様々な形で事業展開できるよう、検討します。		
事業の目標・方向性		大学による専門的な知見を活用した様々な運動プログラムを実践することで、子どもたちが楽しみながら運動に親しむ機会を創出します。		
取組内容	定性	運動に関する専門的な知見や情報等を有する大学と連携した「とよなかキッズ！あそび＆スポーツ☆ぶろぐらむ」を市内4小学校で実施しました。		
	定量	【指標：一】 令和6年度：一		
評価	評価区分	A(達成・推進)	要因分析	一
次年度に向けて	課題	一		
	取組み	一		
備考		令和5年度からマルチスポーツ体験教室として実施。 【事業 No.21 マルチスポーツの推進】		

事業 No.30-1

事業主体		屋内指定管理者		
事業名		子どもスポーツ教室の開催		
事業内容		特定のスポーツに縛られず小学生の運動能力の開発、体を動かす事の楽しさを知ることができる取り組みを実施します。また、マルチスポーツを官学民で協力し充実した内容へ発展を図ります。		
事業の目標・方向性		子ども向けのスポーツ教室を開催し、体を動かす遊びを通じて多様な動きを経験してもらうことで、子どもたちの柔軟性・バランス・持久力の向上につなげます。 【延参加者数】 56,341 人		
取組内容	定性	定員に達していない教室に関しては、体験コースを設け、お子様にあった教室を選択していただけるようにしました。また体験からの継続率も高く体験コースの効果がありました。豊中市はバスケットボールが盛んなため、自主事業で開催しているバスケットボールも定員拡大をして実施いたしました。		
	定量	【指標：延参加者数】 令和6年度：62,129 人		
評価	評価区分	B(取り組み中)	要因分析	定員に達していない教室に関しては、体験コースを設け、お子様にあった教室を選択していただけるようにしたことで、子ども教室の参加者は増加傾向です。また体験からの継続率も高く体験コースの効果がありました。
次年度に向けて	課題	・引き続き、子どもスポーツ教室の参加者が増えるよう取り組む必要があります。 ・マルチスポーツ教室について、様々なスポーツを体験できる機会を創出するために、多様なスポーツができる環境を整える必要があります。		
	取組み	・定員未達の教室に対して、ホームページ・ポスティング・小学校チラシ配布等により周知を行います。 ・マルチスポーツ体験教室の課題としては24年度は申込の集客に苦戦しましたので26年度は小学校チラシを実施し集客を実施致します。		
備考				

事業 No.30-2

事業主体		屋外指定管理者		
事業名		子どもスポーツ教室の開催		
事業内容		小学校低学年には、簡単なルールに沿ってゲームを楽しめる種目を取り入れた教室を実施し、楽しさ・達成感を味わうことで、授業で実施されている種目に対しての苦手意識を持たないことをめざします。また、競技種目の教室では、基本からそれぞれの技術に応じた指導を行うとともに、日頃の練習の成果を試す機会を提供するため、大会を開催します。		
事業の目標・方向性		子ども向けのスポーツ教室を開催し、体を動かす遊びを通じて多様な動きを経験してもらうことで、子どもたちの柔軟性・バランス・持久力の向上につなげます。 【実施回数】 1,516 回		
取組内容	定性	通常教室に加え、豊島小学校で、てしま総合型ローズクラブ主催のテニス教室に講師 1 名を派遣し、テニス指導を毎月継続して行いました。		
	定量	【指標：出張テニス教室を市内小学校で開催した回数】 令和 6 年度：1699 回		
評価	評価区分	A (達成・推進)	要因分析	少子化により、子ども教室も参加者の減少傾向にある中、無料体験会を通じて参加者が増えました。また、スクール生大会開催により、練習の成果を発揮する場を提供し、日頃の練習の励みとなりました。また、中学生向けには教室内外からレベルの高いテニストーナメントを開催し、初めての相手と試合をする楽しみとモチベーション向上に役立ちました。
次年度に向けて	課題	テニス教室の参加者が、どの施設も減少してきていることが課題です。		
	取組み	無料体験会の実施回数を増やし、広報誌や SNS で情報を発信することで、認知を広げ教室参加につなげます。		
備考				

事業 No.31

事業主体		社会教育課		
事業名		青少年自然の家わっぱるなどでの野外活動事業		
事業内容		小学生を対象に、四季折々の自然の中で仲間と協力して生活を共にするキャンプ（自然観察・ハイキング・川遊び・自炊等）を実施し、その中で起こる様々な課題を乗り越える体験から、達成感や仲間づくりに大切なこと等を学び、生きる力や自己肯定感を育みます。		
事業の目標・方向性		自然体験や野外活動の機能を保持しつつ、新規利用者の開拓や魅力向上につながる施設運営となるよう、民間事業者と連携した事業を展開します。		
取組内容	定性	民間企業とのコラボレーション事業として、ひとり親家族支援のキャンプ、元プロ野球の講演会や地元の企業・団体に協力いただいた教育文化事業、タイルを使ってアート作品を作成するキャンプなど、わっぱるの新しい魅力開発や、新しい利用者層の開拓に事業展開しました。		
	定量	【指標：一】 令和6年度：一		
評価	評価区分	B(取り組み中)	要因分析	民間企業とコラボレーションで3事業を展開して進めたことにより、利用延べ数は令和5年度に比べ増加しました。
次年度に向けて	課題	野外活動に関心が薄い層に興味を持ってもらえるよう、今まで以上に地元企業等と連携し、いろいろな側面から事業のねらいや内容を展開する必要があります。		
	取組み	引き続き、民間企業とのコラボレーション企画を実施し、自然の中で活動する楽しさや充実感を感じ、子どものかけがえのない思い出になるような事業展開を進めると共に、地元のイベントに参加するなど、今後の事業に取り組んでいきます。		
備考				

事業 No.32

事業主体		スポーツ振興課		
事業名		スポーツ施設の計画的な改修・更新と施設機能の維持向上		
事業内容		既存のスポーツ施設について、高齢者や障害者も含めたすべての市民が気軽に利用できる施設とするため、バリアフリー化への対応を図り、体育館等の屋内体育施設においては、熱中症対策としての冷暖房設備の設置をはかるとともに更新や改修等順位をつけながら整備します。さらに管理運営について、利用者のニーズに合わせ、利用時間帯等の見直しを検討します。		
事業の目標・方向性		体育館等の冷暖房設備は令和6年度で全施設の整備を完了します。公共施設等総合管理計画個別施設計画に基づき、老朽化状況に応じ順次改修工事等を実施していきます。改修工事にあわせバリアフリー化対応を図っていきます。利用時間見直しの検討を進めます。		
取組内容	定性	令和6年度に庄内体育館特定天井耐震化・空調設置等工事及び豊島公園野球場老朽化に伴う大規模改修工事を実施しました。 令和8年度から体育施設の年末年始の休業日を短縮する規則改正を行いました。		
	定量	【指標：一】 令和6年度：一		
評価	評価区分	B(取り組み中)	要因分析	計画通り実施しました。 豊島温水プールの天井耐震化及び老朽化対策が未着手となっています（令和7年度着手予定）。
次年度に向けて	課題	天井耐震化工事が未着手となっている豊島温水プールの改修工事を実施する必要があります。		
	取組み	天井耐震化工事が未着手となっている豊島温水プール改修工事に向けた実施設計に取り組みます。 令和8年度からの体育施設の年末年始の休業日の短縮に向けた準備を進めます。		
備考				

豊島公園野球場（豊中ローズ球場）



事業 No.33

事業主体		スポーツ振興課		
事業名		スポーツ振興基金の収入確保に向けた取り組み		
事業内容		とよなかマチカネ WAON の普及促進を行うなどスポーツ振興基金の収入確保や清涼飲料水などの自動販売機の設置、施設の空きスペースの貸付を行います。		
事業の目標・方向性		スポーツ振興基金の寄附金額上昇及び自動販売機の設置等により収入確保を図ります。		
取組内容	定性	・とよなかマチカネ WAON について、PR 用不織布バッグを作成し、イベントで配布しました。 ・自動販売機について、引き続き屋内体育施設及び屋外体育施設に 38 台設置し、使用設置料による収入確保に取り組みました。 ・豊中ローズ球場大規模改修にかかるクラウドファンディング及び企業版ふるさと納税を実施し、寄付金 2,692,000 円の収入確保に取り組みました。		
	定量	【指標：－】 令和 6 年度：－		
評価	評価区分	B(取り組み中)	要因分析	・とよなかマチカネ WAON について、不織布バッグの作成により PR を行いました。 ・自動販売機について、屋内体育施設及び屋外体育施設への自動販売機設置使用料による収入確保を行いました。 ・クラウドファンディング及び企業版ふるさと納税による収入確保を行いました。
次年度に向けて	課題	・ふるさと納税では、寄附金の活用メニューの中からスポーツを選んでもらう必要があります。 ・とよなかマチカネ WAON の宣伝方法を検討する必要があります。 ・さらなる収入確保が課題です。		
	取組み	・スポーツ振興基金やとよなかマチカネ WAON の宣伝方法を検討します。 ・さらなる収入確保のため、企業版ふるさと納税の実施を検討します。 ・自動販売機の設置について、公募しているが設置に至っていない場所は、引き続き公募を行います。		
備考				



事業 No.34

事業主体		スポーツ振興課		
事業名		広告収入などを活用したスポーツ振興		
事業内容		スポーツ施設内での広告の導入など、新たな収入確保に向けた取組みの調査・検討を行い、スポーツイベントやスポーツ備品に充てるなど、スポーツの振興を図ります。		
事業の目標・方向性		広告等により得られた収入をスポーツイベントやスポーツ備品に充てることにより、スポーツができる施設や空間等の「場」の充実を図ります。		
取組内容	定性	ふれあい緑地(庭球場・少年野球場・球技場)、豊島温水プール、千里体育館において、ネーミングライツ事業を実施し、印刷物や掲示物、看板等にネーミングライツパートナーの名称を用いて、利用者向けに周知を行いました。		
	定量	【指標：－】 令和6年度：－		
評価	評価区分	B(取組み中)	要因分析	ネーミングライツ事業対象施設において、印刷物や掲示物、看板等にネーミングライツパートナーの名称を用いて、利用者向けに周知を行いました。
次年度に向けて	課題	- 引き続き、ネーミングライツ事業対象施設については、印刷物や掲示物、看板等にネーミングライツパートナーの名称を用いて、適切に利用者向けの周知を行う必要があります。 - スポーツ施設内での広告の導入など、新たな収入確保に向けた取組みについて調査・検討を行う必要があります。		
	取組み	- 引き続き、ネーミングライツ事業対象施設については、印刷物や掲示物、看板等にネーミングライツパートナーの名称を用いて、適切に利用者向けの周知を行います。 - スポーツ施設内への広告導入について、令和8年度実施に向けて、調査・検討を進めます。		
備考				

事業 No.35

事業主体		公民館		
事業名		市民体育祭		
事業内容		各小学校区に設置している公民分館（地域住民が運営）が、小学校等で地域住民が参加する体育祭を実施します。		
事業の目標・方向性		地域住民が体を動かす機会を提供するとともに、交流を深めていただくことで相互協力ができる体制をつくります。 【参加者数】16,000 人		
取組内容	定性	各小学校区に設置している公民分館（地域住民が運営）が、小学校等で地域住民が参加する体育祭を実施しました。		
	定量	【指標：参加者数】 令和6年度：26,423 人		
評価	評価区分	A (達成・推進)	要因分析	公民分館事業への参加・参画の呼びかけやチラシや回覧板、ホームページ等の情報発信等で目標を達成しました。
次年度に向けて	課題	今後とも幅広く住民参加を求めるための周知方法を更に検討していく必要があります。		
	取組み	公民分館事業への高校生の参加・参画の呼びかけ等、将来の地域活動の担い手づくりにつながる取り組みを進めます。		
備考				

事業 No.36

事業主体		公民館		
事業名		公民分館協議会各ブロックのスポーツ大会		
事業内容		公民分館協議会各ブロック（北部・中部・南部・東部）において、各種スポーツ大会を実施します。		
事業の目標・方向性		学校区のみではなく、ブロック間での交流を促進する機会とします。 【参加者数】 200 人		
取組内容	定性	公民分館協議会各ブロック（北部・中部・南部・東部）において、各種スポーツ大会を実施しました。		
	定量	【指標：参加者数】 令和6年度：215 人		
評価	評価区分	A (達成・推進)	要因分析	公民分館事業への参加・参画の呼びかけやチラシや回覧板、ホームページ等の情報発信等で目標を達成しました。
次年度に向けて	課題	分館役員や参加選手の高齢化および参加選手の固定化が見受けられるため、引き続き実施種目等の検討の必要があります。		
	取組み	大会運営方法の変更や幅広い年齢層の参加、新規の参加者を増やすための工夫や、実施種目や周知方法について引き続き検討を行います。		
備考				

スポーツ大会の様子（囲碁ボール）



事業 No.37-1

事業主体		屋内指定管理者		
事業名		スポーツまちづくりイベントの実施（グリスピア等）		
事業内容		市民の誰もが参加していただけるイベント開催します。		
事業の目標・方向性		地域の賑わいづくりとしてスポーツまちづくりイベントを実施することで、スポーツを通じた人と人との交流の推進を図ります。 【実施回数】5回		
取組内容	定性	ふれあい緑地フェスティバル、さんあいイベントに参加し、「瞬発力測定」を行い、スポーツを通じた交流の場を作りました。 また、チアフェスタ・周年祭・トップアスリートイベント、バスケットボール、ドッジボール教室等を開催し、市民同士の交流の場を広げました。		
	定量	【指標：実施回数】 令和6年度：10回		
評価	評価区分	A(達成・推進)	要因分析	スポーツを通じた交流の場作りができました。引き続き、スポーツを通じた交流の場を作れるように取り組みます。
次年度に向けて	課題	人と人との交流が生まれるよう、より幅広い年齢層の方にイベントに参加いただくことと、新規の参加者を増やすことが課題です。		
	取組み	幅広い年齢層の参加、新規の参加者を増やすために、イベント内容や周知方法についてホームページ・ポスティング・小学生チラシ配布や関係団体と連携して参加者を増加させます。		
備考				

事業 No.37-2

事業主体		屋外指定管理者		
事業名		スポーツまちづくりイベントの実施（グリスポピア等）		
事業内容		賑わいづくりとしてグリスポピアを開催するとともに、引き続き、企業や大学、地域団体などと連携し、グリーンスポーツセンターの広場や屋内スペースも活用しながら、スポーツだけでなく、文化や芸術など様々なイベントも開催し、地域の賑わいと施設への愛着を創出しつつ、スポーツをする動機につなげていきます。		
事業の目標・方向性		地域の賑わいづくりとしてスポーツまちづくりイベントを実施することで、スポーツを通じた人と人との交流の推進を図ります。 【実施回数】86回		
取組内容	定性	毎月行うみつばの花でのシーズンイベントでは、子どもから大人まで参加しやすいイベントを開催しました。夏休みには、企業の協力により小学生と保護者対象の「みつばのサイエンスラボ」を開催しました。周年記念の10月には、「グリスポ MAX でスポーツ」でスポーツ・遊び・食を融合した全世代向けイベントで賑わいました。その他、大学との連携によりスポーツに限らず、多様な取り組みができました。		
	定量	【指標：実施回数】 令和6年度：179回		
評価	評価区分	A(達成・推進)	要因分析	グリスポピアでは専用ホームページによる施設情報の発信や、イベントチラシをこども園や学校、公共施設に配架することで、近隣だけでなく市内広域にも開催周知ができたことで、ファミリー層の参加を促しました。チョコレート企業の協力によるみつばのサイエンスラボや大学の先生をお迎えし、羊毛から作るフェルト技法のワークショップなど新たな試みでスポーツにとどまらない交流ができました。
次年度に向けて	課題	施設の認知度をより高めるため、引き続き周知や利用者の増加を図る必要があります。		
	取組み	・地域の学校と連携した事業を行うことで、施設の周知と利用者の増加を図ります。 ・引き続き、企業や大学、地域団体などと連携し、グリーンスポーツセンターウエルネス広場やみつばの花を活用することで、スポーツだけでなく文化・芸術イベントを開催することで魅力のある施設として情報発信していきます。		
備考				



事業 No.38

事業主体		スポーツ振興課		
事業名		各種スポーツイベントの実施（再）		
事業内容		市民だれもが参加できるような、ニーズに沿ったスポーツイベントを実施するとともに、女性スポーツの普及にも力を入れ、市民のスポーツ活動の裾野を広げます。 また、民間事業者や大学、NPO 法人等と連携し、多様なスポーツ機会の充実を図ります。		
事業の目標・方向性		市民が気軽にスポーツに親しむことができるようなイベントを実施し、幅広い世代に対してスポーツ機会の創出に取り組みます。 【実施回数：5回】		
取組内容	定性	『キッズベースボールフェスタ（大谷選手寄贈グローブの活用）』（4月）、『バスケットボールフェスタ』（9月）、『とよなか横断ファンロゲイニング』（11月）、『フラッグフットボール体験会』（2月）、『トライウォーキング』（10月、3月）等、多様なイベントを実施しました。		
	定量	【指標：市主催スポーツイベントの実施回数】 令和6年度：6回		
評価	評価区分	A(達成・推進)	要因分析	大学や一般財団法人等と連携することで、イベントを実施しました。 広報とよなかや SNS 等で情報を発信し、広く市民に参加を呼び掛けました。
次年度に向けて	課題	幅広い世代に参加してもらえるよう、イベントを実施する必要があります。		
	取組み	他事業の対象者や市民のニーズを考慮し、幅広い世代に参加してもらえる内容のイベントを企画します。		
備考				

事業 No.39

事業主体		スポーツ振興課		
事業名		各種スポーツ大会の開催（再）		
事業内容		年齢(年代)別・対象別(小・中・高・一般・壮年等)の大会を実施するとともに、広報の強化を図ります。		
事業の目標・方向性		幅広い世代が参加できる各種スポーツ大会について、広く情報を発信し、参加者の増加を図ります。 【参加者数：32,064 人】		
取組内容	定性	年間を通して、各種市民大会を実施しました。（計 27 回） ホームページ・広報誌で周知を行い、広く市民の参加を呼びかけました。		
	定量	【指標：市民大会及び補助事業の参加者数】 令和 6 年度：26,735 人		
評価	評価区分	B(取り組み中)	要因分析	市民大会について、市ホームページ等で情報を発信し、広く市民に参加を呼び掛けました。
次年度に向けて	課題	参加者が集まらない種目について、大会内容の見直しが必要です。		
	取組み	参加者数の少ない種目や対象区分の見直しに向けて、参加者のニーズを把握する等、検討を進めます。		
備考				

事業 No.40

事業主体		スポーツ振興課		
事業名		地域スポーツ活動の推進（再）		
事業内容		スポーツ推進委員が中心となり、体力テストやニュースポーツ教室等を実施するとともに、委員の質の向上を目指した研修会を開催し、地域とのコミュニケーションのとれる体制・組織づくりに努めます。		
事業の目標・方向性		スポーツ推進委員が各地域に赴き、ニュースポーツなどの指導や助言を行い、地域スポーツの普及に取り組みます。また、スポーツ推進委員のスキルアップにつながる研修などを実施します。		
取組内容	定性	スポーツ推進委員が各地域でニュースポーツの指導を行い、普及促進に努めています。また委員は各種研修会に参加し、各々質を高めています。		
	定量	【指標：一】 令和6年度：一		
評価	評価区分	A(達成・推進)	要因分析	多くのスポーツ推進委員が地域でのニュースポーツの指導やスポーツイベントの企画・実施に参画しました。
次年度に向けて	課題	参画するスポーツ推進委員に偏りが生じています。		
	取組み	若手委員や初任者委員の参加を促すため、委員同士の良好な関係性を構築します。		
備考				

事業 No.41

事業主体		スポーツ振興課		
事業名		総合型地域スポーツクラブ・スポーツ振興会事業（再）		
事業内容		生涯を通じてスポーツに親しめる環境を身近な地域に整える総合型地域スポーツクラブについて、「住民主体」によって地域スポーツの推進を図るため、自立に向けた支援をします。		
事業の目標・方向性		幅広い世代が身近なところで気軽に参加できる地域スポーツ活動の機会を創出し、参加促進を図ります。		
取組内容	定性	ニュースポーツやパレーボール等多様なスポーツ活動を定期的に行いました。「子どもテニス教室」では、屋外体育施設指定管理者から指導員を月に1回派遣することで、事業を実施しました。		
	定量	【指標：一】 令和6年度：一		
評価	評価区分	A(達成・推進)	要因分析	屋外体育施設指定管理者と連携することで事業を実施しました。 HPや館内掲示により事業周知を行いました。
次年度に向けて	課題	総合型地域スポーツクラブが自主運営できるよう、会員や若い指導者の確保が必要です。		
	取組み	総合型地域スポーツクラブが自立して継続的にクラブ運営を行うことができるよう、指導者の支援や広報活動の場を提供しPR活動を行います。		
備考				

事業 No.42-1

事業主体		空港課		
事業名		兄弟都市や姉妹都市、空港で結ぶ就航都市、近隣市など他市チームとの交流試合の開催		
事業内容		兄弟都市の沖縄市や姉妹都市の米国サンマテオ市、空港で結ぶ就航都市との少年野球等交流試合を少年野球団体との連携のもと、引き続き開催していくとともに、他の競技種目の交流についても検討します。また、各競技種目において、他府県や近隣市チームとの交流試合などの開催を促進していきます。		
事業の目標・方向性		就航都市との市民交流の発展に向けて、今後も継続していきます。		
取組内容	定性	豊中市において、島根県隠岐の島町の小学生・中学生・壮年の各年代による野球交流試合を開催し、隠岐の島町においても、小学生の野球交流試合を開催しました。		
	定量	【指標：－】 令和6年度：－		
評価	評価区分	A(達成・推進)	要因分析	少年野球団体との連携のもと、各世代の野球交流試合を開催し、選手や保護者等による交流会やホームステイを通じて、就航都市との市民交流を発展させているため、目標を達成しています。
次年度に向けて	課題	交流試合や交流会の実施場所を確保する必要があります。		
	取組み	引き続き、早期から少年野球団体や就航都市と連携を図り、実施施設との調整、手続きを行うとともに、継続的に交流を行います。		
備考				

事業 No.42-2

事業主体		・スポーツ振興課 ・魅力文化創造課		
事業名		兄弟都市や姉妹都市、空港で結ぶ就航都市、近隣市など他市チームとの交流試合の開催		
事業内容		兄弟都市の沖縄市や姉妹都市の米国サンマテオ市、空港で結ぶ就航先の都市との少年野球の交流試合を少年野球団体との連携のもと、引き続き開催していくとともに、他の競技種目の交流についても検討します。また、各競技種目において、他府県や近隣市チームとの交流試合などの開催を促進していきます。		
事業の目標・方向性		サンマテオ市との姉妹都市提携に関り、豊中・サンマテオ姉妹都市協会が実施するスポーツ交流を支援します。 沖縄市との兄弟都市提携に関わる事業を支援します。		
取組内容	定性	沖縄市との兄弟都市提携 50 周年記念事業として、沖縄市と連携し少年軟式野球とミニバスケットボールの交歓試合を実施しました。 豊中・サンマテオ姉妹都市協会及び少年野球連盟と連携し、次年度の少年野球交流試合実施に向けての支援を検討しました。		
	定量	【指標：一】 令和 6 年度：一		
評価	評価区分	A (達成・推進)	要因分析	沖縄市との兄弟都市連携に関わる事業について、コザ運動公園において、少年軟式野球とミニバスケットボールの交流試合を実施しました。 姉妹都市の米国サンマテオ市との 2 年に 1 度の相互派遣・受入れによる少年野球交流を継続するため、令和 7 年度のサンマテオ市派遣に向けた支援の検討を行いました。
次年度に向けて	課題	引き続き兄弟都市や姉妹都市との交流を実施するとともに、スポーツを通じた交流をより推進できるよう工夫する必要があります。		
	取組み	・多くの人に交流試合の観戦に来てもらえるよう、内容を工夫します。		
備考				

事業 No.43

事業主体		スポーツ振興課		
事業名		運動部活動の地域展開（再）		
事業内容		将来にわたり子どもがスポーツに継続して親しむことができる機会を確保するために、運動部活動の地域移行の方策を検討し、取り組みます。		
事業の目標・方向性		合同部活動の導入、部活動指導員や地域クラブ活動等の地域の人材を活用することにより、生徒の活動機会の確保を図ります。		
取組内容	定性	ラグビー部と剣道部の地域展開の実証事業を実施しました。 ラグビー部では、平日においても自校に部活動がない生徒がラグビーを実施できるようにするため拠点校方式の合同部活動の制度を創設しました。 剣道部では、既存の地域団体と連携し休日の活動について学校部活動から地域クラブ活動への移行に取り組みました。 両種目での実証事業を通して、子どもたちが希望する活動に取り組むための環境整備を検討しました。		
	定量	【指標：－】 令和６年度：－		
評価	評価区分	B(取り組み中)	要因分析	新たに制度化した拠点校方式の合同部活動により、北部と南部に１校ずつ拠点校を設置し、平日においても希望する生徒がラグビーに取り組むことができました。 剣道においては、令和６年度の３年生引退後に休日の活動を地域クラブ活動として取り組みました。 限定的ではありますが、子ども達自身が希望する活動を実施できる整備を進めています。
次年度に向けて	課題	・地域クラブ活動への移行を進めていくにあたり、活動場所となる学校施設の使用ルールや設備の整備が必要になります。 ・豊中市としての地域展開の方針を策定し、各所への周知が必要になります。 ・これまでラグビーや剣道と種目を絞った実証を続けていましたが、今後は取り組む種目拡大の必要があります。		
	取組み	・学校施設の使用に関しては、現在の学校施設開放の規約や使用している団体との調整が必要になるため、まずは関係課との調整を行います。 ・今後の部活動地域展開の方針を策定し、ホームページでの公開や関係団体への説明を行います。 ・地域クラブの種目拡大にあたり、部活動地域展開に係る豊中市地域クラブの認定要件の策定及び団体公募を行います。		
備考				

事業 No.44

事業主体		学校教育課		
事業名		中学校運動部活動の指導者の確保		
事業内容		中学校の運動部活動を持続可能性を担保させるため、部活動指導員制度の活用や部活動指導協力者事業を展開し、専門的技術と指導性を備えた外部人材を配置・派遣します。		
事業の目標・方向性		顧問になり得る部活動指導員を令和6年度は各中学校に配置し、令和7年度はさらに拡充します。また、専門的指導ができる指導者を各校の実態に応じて派遣します。 【部活動指導員配置人数】51人 【部活動指導協力者延べ派遣回数】3,000回		
取組内容	定性	個別ヒアリングによる学校が必要としている指導種目等についての把握、部活動指導員制度や部活動指導協力者事業についての市ホームページへの掲載やポスター等での周知により、指導者の確保に努めました。 また、部活動指導員については、より高度な専門性が求められることから、任用後研修も実施しました。		
	定量	【指標：部活動指導員配置人数、部活動指導協力者のべ派遣回数】 令和6年度：部活動指導員…27人 部活動指導協力者…2931回		
評価	評価区分	B(取り組み中)	要因分析	市ホームページやポスター掲示による周知等により、一定数の指導者の確保ができた一方で、学校が希望する全ての種目等への指導員または指導協力者の配置には至らなかったため。
次年度に向けて	課題	指導者について恒常的な人材不足により、学校のニーズ（専門種目や指導日数等）とのミスマッチングがあり、未配置の種目等がある状況のため、継続して人材確保に取り組む必要がある。		
	取組み	市ホームページへの掲載やポスター掲示による事業の周知を継続して行うとともに、関係者等からも候補となる方を紹介いただくなどして、引き続き指導者の人材確保に努める。		
備考				

事業 No.45

事業主体		スポーツ振興課		
事業名		大学とのスポーツ連携（再）		
事業内容		大学との連携により、「とよなかキッズ！あそび＆スポーツ☆ぶろぐらむ」の実施など、子どもたちがからだを動かすことの楽しさや気持ちよさを感じてもらえるよう運動プログラムの開発と実践を様々な形で事業展開できるよう、検討します。		
事業の目標・方向性		大学による専門的な知見を活用した様々な運動プログラムを実践することで、子どもたちが楽しみながら運動に親しむ機会を創出します。		
取組内容	定性	運動に関する専門的な知見や情報等を有する大学と連携した「とよなかキッズ！あそび＆スポーツ☆ぶろぐらむ」を市内4小学校で実施しました。		
	定量	【指標：一】 令和6年度：一		
評価	評価区分	A(達成・推進)	要因分析	—
次年度に向けて	課題	—		
	取組み	—		
備考		令和5年度からマルチスポーツ体験教室として実施。 【事業 No.21 マルチスポーツの推進】		

事業 No.46

事業主体		スポーツ振興課		
事業名		地域スポーツ活動の推進（再）		
事業内容		スポーツ推進委員が中心となり、体力テストやニュースポーツ教室等を実施するとともに、委員の質の向上を目指した研修会を開催し、地域とのコミュニケーションのとれる体制・組織づくりに努めます。		
事業の目標・方向性		スポーツ推進委員が各地域に赴き、ニュースポーツなどの指導や助言を行い、地域スポーツの普及をめざします。また委員のスキルアップにつながる研修などを実施します。		
取組内容	定性	スポーツ推進委員が各地域でニュースポーツの指導を行い、普及促進に努めています。また委員は各種研修会に参加し、各々質を高めています。		
	定量	【指標：一】 令和6年度：一		
評価	評価区分	A(達成・推進)	要因分析	多くのスポーツ推進委員が地域でのニュースポーツの指導やスポーツイベントの企画・実施に参画しました。
次年度に向けて	課題	参画するスポーツ推進委員に偏りが生じています。		
	取組み	若手委員や初任者委員の参加を促すため、委員同士の良好な関係性を構築します。		
備考				

事業 No.47

事業主体		スポーツ振興課		
事業名		指導者講習会・審判講習会の実施		
事業内容		指導方法・審判方法の講習会を開催し、専門分野の講師による講義や実技指導等を行うことで、各競技の普及・振興を図るとともに、指導者の確保に努めます。		
事業の目標・方向性		生涯スポーツの推進など多くの重要な役割を担っているスポーツ指導者の育成の機会を創出します。 【実施回数：26回】		
取組内容	定性	市の主催事業として体育連盟に委託し、各種講習会を実施しました。		
	定量	【指標：指導者講習会・審判講習会の実施回数】 令和6年度：26回		
評価	評価区分	A(達成・推進)	要因分析	令和5年度末をもってフリーテニス協会が解散したため、計27回の講習会を予定していましたが26回の実施になりました。
次年度に向けて	課題	多様な種目の講習会を計画し、多くの人が講習会を受講できる機会を確保する必要があります。		
	取組み	体育連盟との連携のもと、多様な種目の講習会を計画・実施します。 また、市ホームページ及び広報誌等で周知し、広く参加者を募ります。		
備考		1団体解散により実施団体が27団体から26団体に減少したため、数値目標を27回から26回に変更しました。		

事業 No.48

事業主体		スポーツ振興課		
事業名		公認資格取得のための講習会参加奨励		
事業内容		公認資格講習会への参加の奨励や推薦を行うことで、資格取得者が活動できる場の提供に努めます。		
事業の目標・方向性		生涯スポーツの推進など多くの重要な役割を担っているスポーツ指導者の育成を支援します。		
取組内容	定性	スポーツ指導者の育成を支援するため、スポーツ少年団に公認資格取得のための講習会の情報提供を行いました。		
	定量	【指標：一】 令和6年度：一		
評価	評価区分	A(達成・推進)	要因分析	公認資格を取得することで、豊中市内の大会だけでなく、公認指導者・審判員の登録が必要となる大阪府や全国レベルの大会への出場が可能となるため、引き続き講習会の参加奨励を実施する必要があります。
次年度に向けて	課題	体育連盟に加盟する競技スポーツ団体からそれぞれ登録チームや個人に、積極的に公認資格を取得する方法や情報を提供できる方策を検討する必要があります。		
	取組み	体育連盟の会議等で、スポーツ庁や日本スポーツ協会からの指導者向けの講習会や資格取得の案内等を情報提供するとともに、スポーツ教室の指導員に対しても情報提供を行うことを検討します。		
備考				

事業 No.49

事業主体		・魅力文化創造課 ・社会教育課		
事業名		歴史・文化財等にふれるまち歩き		
事業内容		市内の史跡や文化財、旧街道等をめぐるまち歩きを実施し、まちの魅力に触れながら健康の保持・増進にもつなげます。		
事業の目標・方向性		阪急電鉄株式会社都市交通事業本部沿線まちづくり推進部が企画し、沿線自治体と阪急電鉄株式会社が共同で地域の魅力を発信する阪急観光あるきに参加します。 【参加者数】 100 人		
取組内容	定性	阪急観光あるきは社会教育課と連携し、春に 2 回・秋に 2 回「豊中散策」を実施しました。		
	定量	【指標：参加者数】 令和 6 年度：103 人		
評価	評価区分	B (取り組み中)	要因分析	市内の史跡や文化財、旧街道等をめぐるまち歩きを実施したことにより、健康の保持増進の達成ができました。 阪急電鉄(株)発行の冊子「TOKK」に掲載いただいたことで参加者の増加につながりました。
次年度に向けて	課題	参加される年齢層に偏りの傾向があるため、今後はさまざまな年齢層が参加できるようなコースづくり等が必要です。		
	取組み	次年度に向けて、社会教育課と連携し、豊中市の既存のスポットと新たなスポットを融合させたコース設定をするなど、幅広い層が参加できるコースを検討していきます。		
備考				

事業 No.50

事業主体		スポーツ振興課		
事業名		トップアスリートによる講演会や教室、交流会の実施		
事業内容		トップアスリートやプロチーム等を招き、講演会やスポーツ教室、地元チームとの交流ゲーム等を企画し、多くの市民と競技者がふれあい、夢や希望を与える機会を創出します。		
事業の目標・方向性		トップアスリートやプロチーム等を招き、講演会や教室などを実施することで、スポーツへのバイタリティやモチベーションにつながる機会を創出します。		
取組内容	定性	こどもを対象にトップアスリートによる運動教室を開催し、スポーツへの参加意欲を高めました。 【バスケットボールフェスタ】		
	定量	【指標：一】 令和6年度：一		
評価	評価区分	A(達成・推進)	要因分析	多くの子供が参加し、競技者との交流の機会を確保しました。
次年度に向けて	課題	定期的に講演会や教室、交流会を開催できるよう、トップアスリートやプロチームを招く必要があります。		
	取組み	定期的にトップアスリートやプロチームを招くことのできる仕組みづくりを検討します。		
備考				

事業 No.51-1

事業主体		屋内指定管理者		
事業名		スポーツまちづくりイベントの実施（グリスピア等）（再）		
事業内容		市民の誰もが参加していただけるイベント開催します。		
事業の目標・方向性		地域の賑わいづくりとしてスポーツまちづくりイベントを実施することで、スポーツを通じた人と人との交流の推進を図ります。 【実施回数】5回		
取組内容	定性	ふれあい緑地フェスティバル、さんあいイベントに参加し、「瞬発力測定」を行い、スポーツを通じた交流の場を作りました。 また、チアフェスタ・周年祭・トップアスリートイベント、バスケットボール、ドッジボール教室等を開催し、市民同士の交流の場を広げました。		
	定量	【指標：実施回数】 令和6年度：10回		
評価	評価区分	A(達成・推進)	要因分析	スポーツを通じた交流の場作りができました。引き続き、スポーツを通じた交流の場を作れるように取り組みます。
次年度に向けて	課題	人と人との交流が生まれるよう、より幅広い年齢層の方にイベントに参加いただくことと、新規の参加者を増やすことが課題です。		
	取組み	幅広い年齢層の参加、新規の参加者を増やすために、イベント内容や周知方法について工夫します。		
備考				

事業 No.51-2

事業主体		屋外指定管理者		
事業名		スポーツまちづくりイベントの実施（グリスポピア等）（再）		
事業内容		賑わいづくりとしてグリスポピアを開催するとともに、引き続き、企業や大学、地域団体などと連携し、グリーンスポーツセンターの広場や屋内スペースも活用しながら、スポーツだけでなく、文化や芸術など様々なイベントも開催し、地域の賑わいと施設への愛着を創出しつつ、スポーツをする動機につなげていきます。		
事業の目標・方向性		地域の賑わいづくりとしてスポーツまちづくりイベントを実施することで、スポーツを通じた人と人との交流の推進を図ります。 【実施回数】86回		
取組内容	定性	毎月行うみつばの花でのシーズンイベントでは、子どもから大人まで参加しやすいイベントを開催しました。夏休みには、企業の協力により小学生と保護者対象の「みつばのサイエンスラボ」を開催しました。周年記念の10月には、「グリスポ MAX でスポーツ」でスポーツ・遊び・食を融合した全世代向けイベントで賑わいました。その他、大学との連携によりスポーツに限らず、多様な取り組みができました。		
	定量	【指標：実施回数】 令和6年度：179回		
評価	評価区分	A(達成・推進)	要因分析	グリスポピアでは専用ホームページによる施設情報の発信や、イベントチラシをこども園や学校、公共施設に配架することで、近隣だけでなく市内広域にも開催周知ができたことで、ファミリー層の参加を促しました。チョコレート企業の協力によるみつばのサイエンスラボや大学の先生をお迎えし、羊毛から作るフェルト技法のワークショップなど新たな試みでスポーツにとどまらない交流ができました。
次年度に向けて	課題	施設の認知度をより高めるため、引き続き周知や利用者の増加を図る必要があります。		
	取組み	・地域の学校と連携した事業を行うことで、施設の周知と利用者の増加を図ります。 ・引き続き、企業や大学、地域団体などと連携し、グリーンスポーツセンターウエルネス広場やみつばの花を活用することで、スポーツだけでなく文化・芸術イベントを開催することで魅力のある施設として情報発信していきます。		
備考				

事業 No.52

事業主体		屋内指定管理者		
事業名		障害児向けの各種スポーツ教室の開催		
事業内容		障害者の方対象の教室を導入し、障害者の方が運動しやすい環境やきっかけ作りを図ります。		
事業の目標・方向性		障害児を対象に福祉・スポーツそれぞれの専門家による各種スポーツ教室を開催することで、スポーツを通じた共生社会の推進を図ります。 【参加者数】 13 人		
取組内容	定性	ニノ切温水プールにて3歳以上の障害者の方を対象とした「チャレンジドピラティス」教室を導入しました。		
	定量	【指標：延参加者数】 令和6年度：5人		
評価	評価区分	B(取り組み中)	要因分析	障害者の方を対象とした教室を導入し、障害者の方に運動するきっかけ作りを提供いたしました。
次年度に向けて	課題	障害者の方への認知度を上げる必要があります。		
	取組み	障害者の方への認知度をあげるため、ホームページ・広報誌による周知や、支援学校への案内を行います。		
備考				

事業 No.53

事業主体		屋内指定管理者		
事業名		障害児チャレンジスポーツの実施		
事業内容		障害者チャレンジスポーツの認知度を向上させ参加者増を図ります。		
事業の目標・方向性		障害児が保護者と一緒にのびのびと身体を動かせる遊び場を提供することで、スポーツを通じた共生社会の推進を図ります。 【参加者数】 43 人		
取組内容	定性	計画通り開催いたしました。 豊島体育館：33 人 千里体育館：80 人 合計：113 人		
	定量	【指標：延参加者数】 令和6年度：113 人		
評価	評価区分	A (達成・推進)	要因分析	計画通り実施することができ、目標値を大きく上回る参加者にスポーツをする場を提供することができたためです。
次年度に向けて	課題	障害児の方への認知度を上げる必要があります。		
	取組み	障害児の方への認知度をあげるため、ホームページ・広報誌による周知や、支援学校への案内を行います。		
備考				

事業 No.54

事業主体		障害福祉課		
事業名		障害福祉センターひまわりにおけるスポーツ事業		
事業内容		障害福祉センターひまわりにおいて色々なスポーツ講座や交流事業を開催し障害者の自立支援・社会参加を促進し、健常者との交流を図り障害者への理解を深める場を提供します。		
事業の目標・方向性		障害者の健康増進と、スポーツを通して様々な交流を促進し、日常生活の充実や、社会参加の促進を図ります。 【R9 年度目標 講座等参加者延べ人数:1,700 人】		
取組内容	定性	障害のある人の、日常生活の充実や社会参加を促進するため、R5 年度に好評であったポッチャ大会を R6 年度も開催しました。また、ひまわりひろばでは、様々な障害者スポーツ体験イベントを通じて、障害者への理解を深める機会を提供しました。		
	定量	【指標：講座等参加者延べ人数】 令和 6 年度：1,967 人		
評価	評価区分	A (達成・推進)	要因分析	若年層の講座参加課題に対処するために、土曜日に講座を開催しました。ひまわりひろばでは、「ポッチャ」「フライングディスク」「風船バレー」「フラバール」などのさまざまな障害者スポーツを実施し、スポーツを通じて多世代が一緒に楽しみ交流を深める機会を提供しました。
次年度に向けて	課題	若年層の参加を増やすためには、平日（月曜日から金曜日）に実施する講座の企画や工夫を検討する必要があります。		
	取組み	若年層が参加しやすい内容や、通所施設にしながら受講できるオンライン講座等を利用者のニーズを考慮しながら、検討します。		
備考				

事業 No.55-1

事業主体		スポーツ振興課		
事業名		障害者スポーツ体験会		
事業内容		車いすテニスなど障害者スポーツの体験会を実施し、障害者への理解を深め、障害者スポーツの魅力を広く啓発するとともに、障害者と健常者の交流を図ります。		
事業の目標・方向性		障害者スポーツの体験をととして、障害者への理解を深めるとともに、障害者スポーツの普及・啓発を図ります。 【参加者数：201 人】		
取組内容	定性	ニュースポーツの普及促進に努め、誰もがスポーツに親しめるよう努めました。		
	定量	【指標：ニュースポーツデー参加者数】 令和 6 年度：705 人		
評価	評価区分	A (達成・推進)	要因分析	市内各体育館で、定期的にニュースポーツデーを開催し、多くの市民にニュースポーツを楽しんでもらいました。
次年度に向けて	課題	参加率の低い年齢層にも、ニュースポーツを知ってもらう必要があると考えられます。		
	取組み	参加者数が低迷している学生や 20~30 代に向けて、情報発信を行い、広い世代にニュースポーツの普及促進を図ります。 新しい種目の導入やマチカネポイント付与の対象事業を検討します。 誰もが取り組めるスポーツを実施します。		
備考				

事業 No.55-2

事業主体		屋内指定管理者		
事業名		障害者スポーツ体験会		
事業内容		各施設で開催する障害者スポーツ体験を企画し、健常者と障害者の方と交わる環境を提供します。		
事業の目標・方向性		障害者のスポーツ体験会を開催することで、障害者への理解を深め、障害者スポーツの魅力を広く啓発するとともに、障害者と健常者の交流を図ります。 【実施回数】 4回		
取組内容	定性	卓球バレーを千里体育館・柴原体育館・豊島体育館・武道館ひびきに設置してご利用様に体験していただきました。また、武道館ひびきにてパラスポーツ体験会を開催しました。		
	定量	【指標：実施回数】 令和6年度：5回		
評価	評価区分	A(達成・推進)	要因分析	パラスポーツ体験会を武道館ひびきで実施しました。また、卓球バレーを豊島体育館・武道館ひびき・千里体育館・柴原体育館で開催いたしました。
次年度に向けて	課題	定期的で開催し、障害者（児）の方にも参加いただけるよう周知を行う必要があります。		
	取組み	障害者（児）の方への認知度をあげるため、ホームページ・広報誌による周知や、支援学校・作業所等への案内を行います。		
備考				

事業 No.55-3

事業主体		屋外指定管理者		
事業名		障害者スポーツ体験会		
事業内容		車いすテニスなど障害者スポーツの体験会を実施し、障害者への理解を深め、障害者スポーツの魅力を広く啓発するとともに、障害者と健常者の交流を図ります。		
事業の目標・方向性		障害者のスポーツ体験会を開催することで、障害者への理解を深め、障害者スポーツの魅力を広く啓発するとともに、障害者への理解と障害者と健常者の交流を図ります。 【実施回数】2回		
取組内容	定性	単独の開催では参加希望者が集まりにくいいため、「グリスポ MAX」の開催日に合わせて障害者スポーツの体験会を行い、障害者スポーツの魅力と理解を深めることができました。		
	定量	【指標：実施回数】 令和6年度：2回		
評価	評価区分	A(達成・推進)	要因分析	「グリスポ MAX」の人の集まる大きなイベントで車いすテニス体験会やポッチャを実施し、気軽に参加いただくことができました。
次年度に向けて	課題	単独の開催では参加希望者が集まりにくいいため、大きなイベントと同時に開催する必要があります。		
	取組み	・「ふれあいフェスタ」「グリスポ MAX」の大きなイベントで車いすテニス体験会などを行うことで、気軽に参加いただける機会を作ります。 ・車いすで参加できるチェアエクササイズ教室の体験会を開催しました。		
備考				

事業 No.56

事業主体		学校教育課		
事業名		小・中学校における体力づくり推進計画（アクションプラン）の策定		
事業内容		児童生徒の実態把握に基づいた適切な目標設定及び取組みにより、体力向上を効果的に推進することを目的とした、体力づくり推進計画（アクションプラン）を各市立学校において作成します。		
事業の目標・方向性		全学校において「体力向上推進計画」（アクションプラン）を作成します。 【「体力向上推進計画」（アクションプラン）の作成校数】55校		
取組内容	定性	全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果等からの児童生徒の実態把握に基づき、体力づくり推進計画（アクションプラン）を各市立・義務教育学校において作成しました。		
	定量	【指標：「体力向上推進計画」（アクションプラン）の作成校数 （市内学校数：55校）】 令和6年度：55校		
評価	評価区分	A(達成・推進)	要因分析	全市立学校においてアクションプランを作成し、それに基づく体力向上に向けた取組みを進められたため。
次年度に向けて	課題	各学校における体力向上のための取組みがより効果的なものとなるよう、参考となるような、児童生徒の課題に応じた運動や授業等の具体的な事例について発信する必要があります。		
	取組み	大阪府作成のサイトに掲載されている事例動画の紹介や、各校の作成したアクションプランから収集した好事例の発信等により、各校における、体育授業だけでなく行事等の学校教育全体を通じた、児童や生徒の運動に対する関心や意欲を高めることや体力向上のための効果的な取組みを推進します。		
備考				

事業 No.57

事業主体		健康推進課		
事業名		とよなかパワーアップ体操の普及 (地域の通いの場づくり支援事業)		
事業内容		介護予防体操である「とよなかパワーアップ体操」の普及啓発を行い、当該体操を行う自主グループの立ち上げ支援や継続支援として専門職による体力測定や体操指導、健康に関する講話などを行います。		
事業の目標・方向性		高齢者が身近な場所で介護予防に資する活動を行えるよう市内に「とよなかパワーアップ体操」を実施する自主グループを立ち上げ、継続支援を実施します。 【参加者数：1,800 人】		
取組内容	定性	①普及啓発 128 件 ②立ち上げたグループ数 7 グループ ③継続支援（専門職による体力測定や体操指導など）実施グループ数 109 グループ		
	定量	【指標：参加者数】 令和 6 年度：1,494 人		
評価	評価区分	B(取り組み中)	要因分析	・市内に 100 以上の自主グループが活動中である中、7 グループの新規立ち上げを実施できました。 ・活動中の 117 グループ中、109 グループに専門職による継続支援ができました。(介入率 93.2% R5 年度は 77.3%)
次年度に向けて	課題	・自主グループが存在していない地域があることが課題です。 ・とよなかパワーアップ体操の内容を新しくしてほしいという声が多くありました。		
	取組み	自主グループが存在していない地域、または新規参加者の受け入れをしていない地域に重点的に普及啓発を行い、自主グループの立ち上げを図ります。 ・とよなかパワーアップ体操 (DVD) の内容をリニューアルし、マンネリ化を防止します。		
備考		事業名に「(地域の通いの場づくり支援事業)」を追加しました。それに伴い、事業内容を修正しました。		

事業 No.58-1

事業主体		屋内指定管理者		
事業名		高齢者向け各種スポーツ教室の実施		
事業内容		・いきいき体操：充実した日常生活を送るために必要な体力や筋力をつけることを目的に、楽しみながら取り組んでいきます。 ・体力アップ：運動が苦手な人も気軽に参加し、「運動習慣」づくりを行えるよう、ウォーキングやボールを使った運動等、日常生活に取り入れやすい運動を楽しく指導、実施します。		
事業の目標・方向性		高齢者が安全に運動を継続できるよう、参加者の傾向に合わせたプログラムを提供することで、スポーツによる健康増進を図ります。 【延参加者数】 24,115 人		
取組内容	定性	いきいき体操・楽しいエクササイズ等、高齢者の方に参加いただきやすい教室を提供いたしました。また自主事業では、ロコモ予防体操教室を開催いたしました。		
	定量	【指標：延参加者数】 令和6年度：26,343 人		
評価	評価区分	A (達成・推進)	要因分析	計画通り実施することができ、目標値を上回る参加者にスポーツをする場を提供することができたためです。
次年度に向けて	課題	長期にわたり参加されておられる方は体力・体調にも変化が生じることから、参加される方の傾向に合わせたプログラムや、提供方法についても引き続き検証しながら、高齢者が安全に運動を継続できるよう環境を整える必要があります。		
	取組み	参加される方の傾向に合わせたプログラムや、提供方法についても引き続き検証しながら、高齢者が安全に運動を継続できるよう環境を整えます。		
備考				

事業 No.58-2

事業主体		屋外指定管理者		
事業名		高齢者向け各種スポーツ教室の実施		
事業内容		概ね 60 歳前後の方を対象に設定したテニス教室のクラス「いきいきクラス」や中高齢者向けの「伸ばして動いてセルフケア教室」にてスポーツに親しみ、楽しみながら体を動かしてもらうように取り組みます。		
事業の目標・方向性		高齢者が安全に運動を継続できるよう、参加者の傾向に合わせたプログラムを提供することで、スポーツによる健康増進を図ります。 【実施回数】160 回		
取組内容	定性	ふれあいテニス教室では 60 歳以上の「いきいき」クラスと熟練者向けに一般中級レベルの「シニア中級」があります。また、グリーンスポーツセンターみつばの花で、人気のヨガの要素を加えた中高齢者向け「セルフケアヨガ」を開催しました。高齢者の方にも多く参加いただき、気軽に取り組めるスポーツ機会を創出することができました。		
	定量	【指標：実施回数】 令和 6 年度：194 回		
評価	評価区分	A (達成・推進)	要因分析	高齢者の方にも多く参加いただき、気軽に取り組めるスポーツ機会の創出を果たせました。また、より高いテクニックや戦術を学べるクラスを設けたことで高齢者テニス教室にバリエーションができました。
次年度に向けて	課題	・教室の参加者が定員に達していないことが課題です。 ・高齢者の方が参加されているため、テニス教室に関しては、通常クラス以上に安全面に注意する必要があります。		
	取組み	・様々な方が参加しやすいよう教室内容を工夫するとともに、教室に参加してもらえるよう周知を行います。 ・レッスン前の健康状態の確認や夏場では休憩の頻度を増やすなど、高齢者に配慮した安全対策を講じていきます。		
備考				

事業 No.59

事業主体		学校教育課		
事業名		子どもの生活習慣の実態把握と分析		
事業内容		全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果等を活用し、子どもの生活習慣の実態を把握・分析することにより、子どもの体力向上に向けた具体的方策を探ります。		
事業の目標・方向性		子どもの生活習慣の実態を把握・分析した「豊中市の結果」を市立全学校へ提供し、市ホームページで公表します。		
取組内容	定性	全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果等を踏まえ、子どもの生活習慣等の実態を分析した「豊中市の結果」を、全市立学校へ提供するとともに、市ホームページにて公表しました。		
	定量	【指標：－】 令和6年度：－		
評価	評価区分	A(達成・推進)	要因分析	子どもの生活習慣等の実態を分析した「豊中市の結果」を市ホームページで公表するとともに、全市立学校へ提供することで、各校における子どもたちの課題把握とアクションプランへの反映、それによる体力向上に向けた効果的な取り組みに繋がったため。
次年度に向けて	課題	引き続き、最新の子どもの生活習慣等の実態を把握、分析・発信することで、各校における子どもたちの体力向上に向けた取り組みがより効果的なものとなるようにする必要があります。		
	取組み	今後の全市的な「小中一貫教育」の推進に係る、義務教育9年間を見通した教育課程の編成の中で「体力向上」をめざします。 本市における子どもの生活習慣についての的確に把握するために、「豊中市の成果」に取り上げる項目についても、時代の変化に合わせて検討、精査します。		
備考				

事業 No.60

事業主体		・健康推進課 ・保険給付課		
事業名		生活習慣病予防の推進（健康マイレージ事業「おおさか健活マイレージ アスマイル」）		
事業内容		・大阪府が実施する、スマートフォンを活用した健活サポートアプリ事業です。歩く、歯を磨く、けんしんを受けるなどの健康活動でポイントが貯まり、飲み物や電子マネーが当たる等、市民の主体的な健康活動を促します。 ・また、これに上乗せして令和3年度から実施している「豊中市民限定ポイント」では血圧値の入力や目標歩数の達成、30～50 歳代の国民健康保険被保険者の特定健診受診等の受診に対して電子マネー等に交換できるポイントがもらえます。 →市独自ポイントを運用することで一定の目的を達成できたことから「豊中市民限定ポイント」は令和5年度末をもって廃止となりました。		
事業の目標・方向性		・大阪府において、府民の健康づくり活動に対し、ICT を活用しポイント還元を行うことで自発的な行動を促進すると同時に健康情報が見える化し、継続的な健康づくり活動の促進を図るため、アプリ「アスマイル」を導入します。（令和元年10月より府内全域で実施） ・府が開発した「アスマイル」のプラットフォームを活用し、市町村独自ポイントを付与することが可能であることから、令和3年度より本市独自のポイントを付与し、自発的な健康づくり活動を推進します。 →市独自ポイントを運用することで一定の目的を達成できたことから「豊中市民限定ポイント」は令和5年度末をもって廃止となりました。 【アスマイル登録者数】19,000 人		
取組内容	定性	①チラシ配布 （特定健診受診券送付時・母子健康手帳交付時・年度末発送（医療機関宛）） ②市 HP での各種アスマイルキャンペーン周知 （アスマイル新規会員登録キャンペーン・Road to EXPO ポイントチャレンジ・楽天ポイント山分けキャンペーン等）		
	定量	【指標：アスマイル登録者数】 令和6年度：17,925 人		
評価	評価区分	B(取り組み中)	要因分析	・様々な取り組みにより、目標登録者数（18,000 人）に対し、令和6年度末時点で達成率が99.6%（17,925 人）でした。 ・アプリを通じて、幅広い年齢層に対し、自身の健康づくりに関心を持つよう働きかけることができました。
次年度に向けて	課題	・現行アプリでの運用継続について、令和6年度末時点で未確定のため、今後の運用（運用可否や継続方法、ポイント付与時期等）について市民への周知を確実に行う必要があります。		
	取組み	・今後の運用も含め、「特定健診を受診することで3,000 円相当の電子マネー等が当たる」（大阪府の市町村国民健康保険に加入の40 歳以上の方に対する）キャンペーンなど、引き続きチラシの配布や市ホームページ等で周知を行っていきます。		
備考				

事業 No.61

事業主体		健康推進課		
事業名		親子でエクササイズ【なわとび編・バスケ編】		
事業内容		本プログラムを実施することにより、市民に対し健康について関心を持ち、運動習慣をつけてもらうとともに、フレイルを予防するため、知識の周知・啓発および「フレイル」の認知度を高めることを目的とします。 本事業は、働き世代（30～50代）および健康に関心を持たない人（無関心層）へのアプローチの一環として、①親子のペアで参加すること、②なわとび・バスケットボールという馴染みのある運動方法であることで同世代の参加促進をねらって事業を実施します。		
事業の目標・方向性		働き世代（30～50代）および健康に関心を持たない人（無関心層）へのアプローチの一環として、①親子のペアで参加すること、②なわとび・バスケットボールという馴染みのある運動方法であることで同世代の参加促進をねらって事業を実施します。 【参加組数】128組		
取組内容	定性	以下の内容で実施しました。 ①体組成測定・子どもなわとび検定 ②健康教育（フレイル予防） ③なわとび編『なわとび世界チャンピオンといっしょに運動！筋トレ！』 講師：黒野寛馬氏（株式会社 JUMPLIFE 代表取締役・プロなわとびプレイヤー） バスケ編『元プロバスケットボール選手といっしょに運動！筋トレ！』 講師：金本奈々氏（株式会社 いっぽ代表取締役・元プロバスケットボール選手） ④フレイルチェック（複写式）、アンケート		
	定量	【指標：参加組数】 令和6年度：128組		
評価	評価区分	B(取り組み中)	要因分析	当選枠（158組）に対し約1.7倍の応募（266組）があったことから、親子で参加する事業は働き世代にニーズがあり、普段アプローチしづらい働き世代への啓発をしていくうえで効果的であったと考えています。 また、本年度から新たに「バスケ編」を創設しました。全体のうち27%が第一希望にバスケ編を希望していた（なわとび編は3回、バスケ編は1回開催）ことから、なわとび以外の講座の需要も一定数求められていることが確認できました。バスケに留まらず、次年度以降もなわとび以外の種目の実施について検討していきます。
次年度に向けて	課題	・本イベントを知った主なきっかけは小学校で全児童に配布したチラシ（86%）や広報とよなか（6%）であったが、保健所 SNS によるきっかけはありませんでした。		
	取組み	より多くの市民に情報を届けられるよう引き続き小学校の全児童への配布を継続するとともに広報誌への掲載、市ホームページや SNS の掲載時期や頻度、内容等含めて改善していきます。 豊泉家千里体育館・豊島体育館の既存2か所に加え、新たに庄内体育館での追加開催を検討し		

		ます。イベント実施回数を4回から6回に増やす且つ市内北部・中部・南部で満遍なく実施することで、より多くの働き世代にアプローチします。(なわとび編・バスケ編を前年度より各1回ずつ追加)
備考		令和5年度追加事業 ・事業名を「親子でなわとびエクササイズ」から「親子でエクササイズ なわとび編・バスケ編」に変更しました。それに伴い、事業内容、事業の目標・方向性を修正しました。



第2期豊中市スポーツ推進計画

評価報告書

令和6年度（2024年度）実施分

令和7年（2025年）11月

豊中市 都市活力部 スポーツ振興課

〒561-8501 豊中市中桜塚 3-1-1

06-6858-3309